

研修 No	研修名	実施日数	研修開催日	定員	応募者数	決定者数	受講者数	保健師		助産師		看護師		准看護師		その他	
								会員	非会員	会員	非会員	会員	非会員	会員	非会員		
20	【インターネット配信・リアルタイム】災害支援ナースの基礎知識～災害看護の第一歩～	2	7/6 7/7	150	188	169	169	2	1	2	-	158	2	4	-	-	
21	災害医療と看護（実践編）	2	3/2 3/3	70	111	99	91	3	1	1	-	86	-	-	-	-	
22	災害支援ナース更新・再登録要件講習会（旧・災害支援ナースフォローアップ研修）	1	2/21	70	84	79	77	-	-	2	-	75	-	-	-	-	
23	看護研究Ⅰ～初めて取り組む看護研究～	3	4/25 4/26 6/6	100	66	64	64	-	-	2	-	60	-	2	-	-	
24	看護研究Ⅱ～研究論文を完成させる～	2	8/19 9/23	80	71	68	68	2	-	2	-	62	2	-	-	-	
25	認知症看護初心者研修	3	8/3 8/4 8/5	120	456	143	143	1	-	-	-	139	2	1	-	-	
	認知症看護初心者研修（追加）	B	11/21 11/22 11/23	120	313	138	135	1	-	-	-	131	-	3	-	-	
26	認知症看護中堅者研修	3	12/5 12/6 12/7	100	186	106	103	-	-	1	-	98	2	1	1	-	
27	認知症看護指導者研修	9	1/6 1/10 2/20	30	52	35	35	-	-	-	-	35	-	-	-	-	
28	糖尿病患者のセルフケア支援（基礎編）	1	11/1	150	106	103	95	3	1	2	-	77	6	5	1	-	
29	糖尿病患者のセルフケア支援（実践編）	1	11/16	120	67	62	59	1	-	-	-	47	6	4	1	-	
54	セカンドレベルフォローアップ研修（平成27年度第15回修了生対象）	1	2/3	10	24	24	20	-	-	-	-	20	-	-	-	-	
小 計（領域別）				1,120	1,724	1,090	1,059	13	3	12	-	988	20	20	3	-	
中 計（ステップアップ教育）				4,235	4,953	4,224	4,169	34	3	138	3	3,649	234	84	24	-	
30	助産実践能力強化支援研修～CLoCMIPに活用できる必須研修その1～	1	5/16	40	40	38	38	-	-	35	1	2	-	-	-	-	
	31	助産実践能力強化支援研修～CLoCMIPに活用できる必須研修その2～	1	8/3	40	31	30	29	-	-	28	-	1	-	-	-	-
	32	助産実践能力強化支援研修～CLoCMIPに活用できるステップアップ研修～	1	6/3	40	46	41	41	-	-	33	2	6	-	-	-	-
	33	看護管理に活用できる職場のメンタルヘルスとストレスマネジメント	2	11/28 11/29	120	81	76	75	-	-	6	-	69	-	-	-	-
	34	身体疾患を持ったうつ傾向にある患者への関わり方を学ぼう	1	12/2	120	92	90	88	1	-	2	-	78	2	5	-	-
	35	高齢者に起こりやすい機能低下と生活適応を支える看護	A	1/20	100	81	78	76	-	-	-	-	71	-	5	-	-
			B	2/14	100	72	71	68	-	-	1	-	62	1	4	-	-
	36	最新のがん治療と看護	3	11/7 11/8 11/9	150	146	141	140	-	-	3	-	131	1	5	-	-
	37	手術看護～外回り看護のエビデンスを学ぼう～	1	10/29	120	98	94	93	-	-	-	-	85	4	4	-	-
	38	急性期の看護～循環器系に強いナースを目指そう～	A	2/30 1/31	150	145	141	137	1	-	-	-	131	1	4	-	-
			B	2/7 2/8	150	133	127	120	-	-	-	-	118	-	2	-	-
	39	エンド・オブ・ライフ・ケア（ELNEC-J）研修	A	2/13 12/14	60	111	61	57	-	-	-	-	56	1	-	-	-
			B	2/11 1/12	60	81	61	57	1	-	1	-	55	-	-	-	-
	40	摂食・嚥下障害を持つ患者の看護	A	2/10/26 10/27	120	93	90	90	-	-	1	-	78	4	5	2	-
			B	2/11/14 11/15	120	76	74	73	-	-	-	-	69	1	2	1	-
	41	看護師としての成長を支える自己の振り返り～リフレクション～	1	2/13	100	109	106	105	2	-	5	-	92	-	5	1	-
	42	医療安全基礎—やってみよう！危険予知トレーニングKYT—	A	1/12/19	120	113	108	103	-	-	2	1	85	6	6	3	-
			B	1/12/20	120	86	82	79	-	-	1	1	70	2	3	2	-
	43	最新の褥瘡予防とケア	A	2/11/10 11/11	150	157	151	151	-	-	1	-	141	2	7	-	-
	43	最新の褥瘡予防とケア	B	2/2/9 2/10	150	108	100	93	-	-	-	-	89	1	3	-	-
	44	看護職の倫理的責任・法的責任	2	1/25 1/26	120	113	111	108	-	-	2	-	103	1	2	-	-
	45	感染管理 A日程	A	4/8/1 8/2 10/21 10/24	120	95	92	91	2	-	-	-	85	2	2	-	-
		感染管理 B日程	B	4/8/17 8/18 9/12 9/13	120	86	84	84	1	-	-	-	79	1	3	-	-
	46	在宅・介護施設等における感染管理	1	7/23	40	66	61	60	1	-	1	-	53	-	4	1	-
	47	地域包括ケアを進めるための看護活動	3	10/20 10/28 11/2	120	174	121	120	6	-	-	-	113	-	1	-	-
	48	訪問看護におけるフィジカルアセスメント～訪問看護師養成講習会合同研修～	1	11/19	60	68	62	59	-	-	1	-	39	14	2	3	-
53	認知症高齢者の看護実践に必要な知識～インターネット配信研修【インタイム】～	2	12/13 12/14	500	305	293	292	1	-	1	-	277	13	-	-	-	
小 計（看護実践）				3,210	2,806	2,584	2,527	16	-	124	5	2,238	57	74	13	-	
合 計				8,200	8,661	7,542	7,408	55	3	285	14	6,499	347	168	37	-	

第35回千葉県看護研究学会

研修 No	研修名	実施日数	研修開催日	定員	応募者数	決定者数	受講者数	保健師		助産師		看護師		准看護師		その他
								会員	非会員	会員	非会員	会員	非会員	会員	非会員	
52	千葉県看護研究学会（一般）	A	1/2/26	500	429	424	397	2	1	7	-	370	6	9	1	1
	千葉県看護研究学会（看護学生）	B	1/2/26													
合 計				500	429	424	397	2	1	7	-	370	6	9	1	1

衛星通信研修（主催：ヴェクソンインターナショナル株・S-QUE研究会）

研修 No	研 修 名	実施日数	研修開催日	定員	受講者数
-	重症度、医療・看護必要度評価者院内指導者研修	1	7/24	150	146
	重症度、医療・看護必要度評価者院内指導者研修	1	8/28	150	139
	重症度、医療・看護必要度評価者院内指導者研修	1	11/27	150	142
合 計				450	427

2. 第35回千葉県看護研究学会

(1) 目的

看護活動の取り組みを研究として発表し、成果や課題を各施設間で共有することで看護資質向上を図る。

(2) テーマ 「想いをかたちに 看護で未来につなげる」

(3) 日時 平成29年2月24日（金）9：30～16：00

(4) 場所 アパホテル&リゾート<東京ベイ幕張ホール>

(5) プログラム

①開会式 9：35～9：55

②特別講演 10：00～11：30

テーマ 「いつまでも輝く看護職を目指して」

講師 NPO法人看護職キャリアサポート 代表 濱田安岐子

③ミニレクチャー 11：40～12：10

テーマ 「看護実践を伝えたい～看護研究に活かすには～」

講師 順天堂大学医療看護学部 前任准教授 島田広美

④研究発表 13：00～15：40 ①口演 32題 ②示説 16題 合計48題

⑤看護研究支援 13：30～15：30（相談支援、文献検索等）

(6) 総参加者数 総数442名

(7) 表彰演題（表彰は平成29年度千葉県看護研究学会にて行う）

①最優秀演題 「PBLを用いた主体的な学習に向けた取り組み ―学生自己評価からみた学習効果の検討―」

所 留美 国保松戸市立病院附属看護専門学校

②優秀演題 「A病院における看護研究の困難に関する実態調査」

高橋 花織 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所病院

「回想法を取り入れた認知症患者への取り組み ―認知機能・日常生活行動に着目して―」

久保 幸寿 医療法人白百合会 大多喜病院

(8) まとめ

千葉県看護研究学会の開催は35回をむかえた。

演題数48題、参加者数442名であった。演題数は計画した目標演題数60題には届かなかったが26年度、27年度と年々微増している。これは研修会だけでなく、施設等代表者会や地区部会長会等にも広報し、また募集期間も延長したこと等によるものと考えられる。

また、参加者数は27年度に比べ37名減少したが、これは看護学校の参加がなかったことが要因となっており、一般参加数は前年同様である。

平成26年度から設置した千葉県看護研究学会実行委員会の中で企画・運営・内容等の検討を重ね、委員会での意見を受けて28年度は査読者を看護大学に依頼した。

研究支援の一環として開催している看護研究相談コーナーに、前年度同様に休憩コーナーを設け、優秀演題やミニレクチャー等の資料を展示し、参加者が相談しやすい雰囲気づくりを行った。そのためか相談件数は12件、文献検索は6件と前年度（相談件数7件）より大幅に増加した。また、「事前予約が可能か」との問い合わせもあるなど、本コーナーが定着しつつあることも伺える。今後も引き続き支援コーナーを有効活用できるように設営を考えたい。

また、看護研究学会実行委員会は引き続き設置し、社会情勢をふまえ、時代や会員のニーズに応じた企画・運営を検討し、充実した学会につなげていく必要がある。

Ⅱ 看護職等の労働環境等の改善、就業促進等による看護師等の人材確保・定着に関する事業

1. 看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業

平成28年度 看護職のWLB推進ワークショップ プログラム

開催日程 平成28年10月13日(木)・14(金) 2日間
 開催会場 千葉県ナースセンター 2階研修室
 参加者 参加施設、WLB推進部会等メンバー、オブザーバー

〈1日目：10:00～16:00〉

時間	内容	講師・担当者	司会等
10:00～10:05 (5分)	あいさつ	千葉県看護協会長	寺口理事
	講義 テーマ ―看護職が働き続けられるために―		
10:05～11:05 (60分)	1. 「組織的な取組みをめざして ～職員の勤労意欲と満足感～」	千葉県循環器病センター 事務局長 氏原 強	
11:05～11:35 (30分)	2. 「事例発表：WLB推進の取り組み 3年目報告 ～2年間の取組みから見えてきたこと～」	取組み3年目 東邦大学医療センター佐倉病院 副看護部長 京谷みよ子	
11:35～12:00 (25分)	3. ワーク・ライフ・バランスが職場に根付く取組み方とは	千葉県看護協会 WLB推進アドバイザー 山田みどり	
12:00～13:00	昼 食		
13:00～16:00 (180分)	個別ワーク（各施設毎で作業） ・進め方のオリエンテーション ・インデックス調査結果の分析 ・自施設の問題・課題の確認、優先度の明確化 ・目標の設定 ・アクションプランの立案 ※随時、支援者、推進者、WLB推進部会メンバー等の助言を受けながら進めていく	千葉県看護協会推進者・ 支援者	寺口理事

〈2日目：10:00～15:30〉

時間	内容	講師・担当者	司会等
10:00～12:00 (120分)	個別ワーク（各施設毎で作業）	千葉県看護協会 WLB支援者他	寺口理事
12:00～13:00	昼 食		
13:00～14:00 (120分)	個別ワーク（各施設毎で作業）	千葉県看護協会 WLB支援者他	寺口理事
14:00～15:00 (60分)	各施設の発表（3施設、各施設20分） ①千葉県済生会習志野病院②成田赤十字病院③国保大網病院 ・自施設の分析結果(問題、課題、優先度、その根拠、 推進体制づくり) 及びアクションプラン(案)を発表 参加施設、支援者、推進者、WLB推進部会メンバー等 と討議を行う	千葉県看護協会 WLB推進者・支援者	寺口理事
15:00～15:20 (20分)	全体討議、意見交換、総評		WLB推進部会・ 澤田専務
15:20～15:30 (10分)	フォローアップワークショップ（平成29年1月27日） について説明		寺口理事 山田アドバイザー

看護職のWLB推進フォローアップワークショップ プログラム

1. 目的：ワークショップ後の各施設での取組みについて、情報を共有すると共に意見交換を行い、次年度以降の各施設における取組み課題を明確にする。
2. 開催日時：平成29年1月27日（金）10時00分～15時30分
3. 開催会場：千葉県看護会館2階大研修室
4. 参加者：参加施設、ワーク・ライフ・バランス推進部会委員(支援者、推進者)及び事務局、傍聴者等
5. 内 容 司会：寺口理事

時 間	内 容	担 当
9：55～10：00	オリエンテーション	寺口理事
10：00～10：20	WLB今年度の取組みについて	山田アドバイザー
10：20～10：40 10：40～11：00 11：00～11：20	各施設の報告 1. 千葉県済生会習志野病院 2. 成田赤十字病院 3. 国保大網病院	
<各施設20分>	—報告内容— ①病院概要 ②推進体制づくり ③アクションプラン ④アクションプランの実施状況⑤次年度に向けての取組み計画、課題	
11：20～11：40	質疑応答・総評	支援者等
11：40～12：40	昼 食	
12：40～12：55 12：55～13：10 13：10～13：25 13：25～13：40 13：40～13：55 13：55～14：10	取組み2年目施設の進捗状況について 1. 千葉中央メディカルセンター 2. 帝京大学ちば総合医療センター 3. 佐倉厚生園病院 4. 国保小見川総合病院 5. 千葉徳洲会病院 6. 日本医科大学千葉北総病院	
<各施設15分>		
14：10～14：30	総 評	WLB推進部会 澤田専務
14：30～14：40	休 憩	
14：40～15：30 講義40分 質疑応答10分	講 演 「多様な勤務形態導入のポイント～実践編（仮）」 千葉労働局雇用環境・均等室 働き方・休み方改善コンサルタント 坂上和芳 氏	

2 看護進路相談事業

ふれあい看護体験事業

- (1) 目的 中・高校生等が病院や介護施設において、看護師の看護実践場面の見学や体験をとおして看護を実感することにより、看護についての関心を高め、理解を深めることにより看護を志す人材を確保する。
- (2) 実施期間 平成28年5月～平成29年1月
- (3) 受入施設 101施設
- (4) 実施施設 77施設
- (5) 参加人数 1,240名
- (6) 実施内容
- | | |
|----------------|------------------|
| ① 看護についての説明 | ② 院内見学 |
| ③ ベッドメイキング | ④ 清拭、手浴、足浴等清潔の介助 |
| ⑤ 移動の介助（車椅子移動） | ⑥ 食事介助 |
| ⑦ バイタルサイン測定 | ⑧ 看護に係わる進路相談等 |
- (7) 参加者の感想
- ・実際に体験できたことで、今後自分が進んでいく道でよいのかを考える機会になった。
 - ・患者さんに「ありがとう」と言われたのが、とても印象的だった
 - ・資格を取ってからでも勉強を続けスキルアップをしていることを知り、やりがいがある仕事だと思った。
- (8) 受入施設の感想
- ・体験一つ一つに驚き、時に笑顔が見られ、自分たちにもこんな時期があったことを思い出し初心に戻れた気がする。
 - ・看護体験は看護の仕事へのさらなる興味と個々の看護への道を目指す一步になれたと思う。

進路相談事業

- (1) ナースセンターにおける進路相談

項目	一般	高校	中学	教師	保護者	その他	計
電話相談	26	1	0	0	7	6	40
面接	5	1	0	0	1	0	7
メール	1	0	0	0	0	0	1
FAX・郵便	0	0	0	0	0	0	0
合計	32	2	0	0	8	6	48

- (2) 出前授業（出張相談含む）

NO	学校名	参加者数
1	千葉市立越智中学校 6/23	68
2	銚子市立第6中学校 7/13	88
3	千葉市立こてはし台中学校10/5	173
4	柏市立柏中学校 10/21	195
5	千葉市立磯辺中学校 11/1	144
6	習志野市立第5中学校 11/25	233
7	四街道市立千代田中学校12/5	131
8	東金市立東中学校 12/14	158

NO	学校名	参加者数
9	千葉市立犢橋中学校 2/15	76
10	千葉市立幕張西中学校 2/21	234
11	千葉県立市川南高等学校6/22	15
12	千葉県立八千代高等学校9/20	40
13	千葉商科大学附属高等学校10/25	344
14	千葉県立千葉女子高等学校10/25	51
合計（名）		1,950

【授業内容】

- ・いのちの大切さ、こころとからだの話
- ・看護職の仕事（仕事内容・魅力、体験談等） 看護職への道（資格の取り方、進路の説明等）
- ・看護技術の体験（心音聴取、血圧・脈拍測定等）
- ・性感染症防止

3 ナースセンター事業

(1) 看護職の職業紹介事業

ナースセンター登録状況

① 新規受付登録者数 (人)

* 仮登録者を含む

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
保健師	29	22	4	10	6	11	6	3	5	6	8	3	113
助産師	4	6	2	2	1	5	1	1	1	2	2	3	30
看護師	103	170	70	79	46	58	71	38	53	39	44	47	818
准看護師	5	9	8	7	6	5	15	1	3	4	3	11	77
未記入*	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2
合計	141	207	84	98	59	79	94	43	62	51	58	64	1,040

② 求人登録数

* 求人登録有効期間 6か月

	保健師	助産師	看護師	准看護師	合計(人)
病院	0	7	439	8	454
診療所	2	2	155	27	186
訪問看護ステーション	0	0	133	0	133
介護保健施設等	0	0	140	17	157
社会福祉施設等	0	0	41	12	53
県・市町村	11	2	11	0	24
事業所等	1	0	8	0	9
学校等	2	0	12	0	14
その他	9	0	56	2	67
合計	25	11	995	66	1,097

(平成29年3月末現在)

(2) 届出制度 (平成28年4月1日～平成29年3月31日まで)

1,095人			
就業意志があると思われる者	534人 (48.77%)	左記以外の届出者	561人 (51.23%)
直ぐに就職したい	33人	就業中(看護職等)	309人
いずれ復職したい	148人	就業中(看護職外)	45人
意志あり時期未定	353人	その他(未記入含)	207人

(3) 看護基礎技術講習会

目的：潜在看護職及び求職中の看護職で、看護基礎技術に不安があり、再学習及び再習熟を希望している方を対象に、ナースセンターにおいて看護基礎技術を体験、習熟する場を確保し、支援することにより再就業への動機づけとする。

参加状況

参加人数	71名
就業者	39名
就業率	54.92%

参加者の背景

年齢	職種別数				人数(名)	経験年数	人数(名)	ブランク	人数(名)
	保	助	看	准					
30歳以下	1	0	5	0	6				
30～35歳	4	0	8	0	12	5年未満	26	5年未満	18
36～40歳	2	0	15	0	17	5年以上	28	5年以上	16
41～45歳	16	1	0	2	19	10年以上	17	10年以上	37
46～50歳	1	0	9	3	13	合計人数	71	合計人数	71
51歳以上	0	0	3	1	14				
合計人数	24	1	40	6	71				

(4) 看護職の定着確保にかかる調査

① 看護職の定着確保動向調査

調査目的：看護職の定着確保対策の一環として、毎年、新人看護職の現状や、離職中の看護職の就業意向や希望する勤務条件、さらに、病院における看護職の需給動向や教育研修体制、労働条件、定着確保対策を把握し、今後の看護職の定着確保対策の基礎資料とする。

調査対象及び調査方法、調査期間

調査対象	調査方法	調査期間
千葉県ナースセンターに登録の未就業看護職	返信用封筒を同封した調査票を郵送・回収	平成28年9月1日～平成28年9月15日
千葉県看護協会主催のフレッシュセミナー受講生	フレッシュセミナーにて調査票を配布・回収	平成28年10月 5, 6, 7, 11, 12, 13, 14, 17, 18, 19日
求人施設（県内病院の看護管理者）	返信用封筒を同封した調査票を郵送・回収	平成28年8月25日～平成28年9月8日

調査結果の概要

ア. 千葉県ナースセンターに登録の未就業看護職

対象数：241名 回収数：83名（回収率：34.4%）

(ア) 求職者の現住所

千葉	市原	船橋	市川	松戸	東葛	印旛
24	3	12	9	4	12	12
28.9%	3.6%	14.5%	10.8%	4.8%	14.5%	14.5%
利根	山武	長夷	君津	安房	県外	無回答
0	1	1	3	0	0	2
0.0%	1.2%	1.2%	3.6%	0.0%	0.0%	2.4%

(イ) 年齢

20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	無回答
0	7	29	24	15	8	0
0.0%	8.4%	34.9%	28.9%	18.1%	9.6%	0.0%

(ウ) 離職時の職種

保健師	助産師	看護師	准看護師	無回答
5	2	72	4	0
6.0%	2.4%	86.7%	4.8%	0.0%

(エ) 看護業務の通算勤務年数

1年未満	1～3年	4～6年	7～9年	10～14年	15～19年	20年以上	無回答
3	6	14	11	16	12	20	1
3.6%	7.2%	16.9%	13.3%	19.3%	14.5%	24.1%	1.2%

(オ) ブランク期間

0～3年	4～5年	6～10年	11年以上	無回答
55	9	6	8	3
66.3%	10.8%	7.2%	9.6%	3.6%

(カ) 離職時の雇用形態

正規職員	非常勤職員	派遣	無回答
62	19	1	1
74.7%	22.9%	1.2%	1.2%

(キ) 離職理由

定年退職	契約期間満了	結婚	出産育児 子供のため	配偶者の 転勤	老親の世話 家族の介護	家事と両立 しない	健康上の理由	自分の適正 能力への不安	Uターンの ため
8	1	13	9	5	9	7	10	6	2
9.6%	1.2%	15.7%	10.8%	6.0%	10.8%	8.4%	12.0%	7.2%	2.4%

通勤困難	転居	他分野への 興味	進学	看護職に向 いていない	人間関係	看護内容 への不満	継続教育が ない	賃金への 不満	労働時間へ の不満
3	12	3	2	0	16	5	0	4	2
3.6%	14.5%	3.6%	2.4%	0.0%	19.3%	6.0%	0.0%	4.8%	2.4%

夜勤回数が 多い	残業量が多 い	福利厚生が 十分でない	休みが 取れない	その他
5	6	1	4	8
0	6.0%	7.2%	1.2%	4.8%

その他 <input type="checkbox"/> 変形勤務 <input type="checkbox"/> 実質5交代 <input type="checkbox"/> 閉院 <input type="checkbox"/> 学業との両立 <input type="checkbox"/> キャリアアップ <input type="checkbox"/> 妊活
--

(ク) 就業条件

保育所がある (夜間保育含む)	育児制度が 利用できる	介護休暇が とれる	休みが とりやすい	超過勤務が 少ない	夜勤回数が 少ない	夜勤がない	柔軟な勤務 形態の導入	自分の 希望する給与	通勤に便利 な職場
16	6	5	40	29	4	18	27	9	29
19.3%	7.2%	6.0%	48.2%	34.9%	4.8%	21.7%	32.5%	10.8%	34.9%

看護内容が 充実している	自分の能力が 活かせる	継続教育が 充実している	希望する看護 領域である	資格取得支援 がある	無回答
9	9	12	6	1	0
10.8%	10.8%	14.5%	7.2%	1.2%	0.0%

イ. 千葉県看護協会主催のフレッシュセミナー受講中の看護職

対象数：1,195名 回収数：1,158名（回答率：96.9%）

(ア) 性別

女性	男性	無回答
990	164	4
85.5%	14.2%	0.3%

(イ) 卒業した看護師等学校養成所

大学院	大学	看護学校	保健師学校	助産師学校	准看護師学校	その他	無回答
5	338	697	7	11	25	24	51
0.4%	29.2%	60.2%	0.6%	0.9%	2.2%	2.1%	4.4%

その他

<input type="checkbox"/> 5年一貫高校 <input type="checkbox"/> 看護短期大学 <input type="checkbox"/> 高等学校専攻科
--

(ウ) 職種

保健師	助産師	看護師	准看護師	無回答
25	21	1001	37	74
2.2%	1.8%	86.4%	3.2%	6.4%

(エ) 勤務形態

常勤	非常勤	無回答
1134	4	20
97.9%	0.3%	1.7%

(オ) 現在の就業施設の所在地区

千葉	市原	船橋	市川	松戸	東葛	印旛	利根	山武	長夷
204	70	197	26	95	32	146	66	13	15
17.6%	6.0%	17.0%	2.2%	8.2%	2.8%	12.6%	5.7%	1.1%	1.3%

君津	安房	県外	無回答
42	131	0	121
3.6%	11.3%	0.0%	10.4%

(カ) 施設規模・施設等

病院							無床診療所	有床診療所	市町村
20～99床	100～199床	200～299床	300～399床	400～499床	500床以上	床数不明			
21	80	166	191	202	333	0	1	1	5
1.8%	6.9%	14.3%	16.5%	17.4%	28.8%	0.0%	0.1%	0.1%	0.4%

健康福祉センター	訪問看護ステーション	介護保健施設	社会福祉施設	その他	無回答
0	3	1	0	0	154
0.0%	0.3%	0.1%	0.0%	0.0%	13.3%

(キ) 社会人経験について

ある	ない	無回答
242	902	14
20.9%	77.9%	1.2%

(ク) 辞めたいと思ったことの有無

ある	ない	無回答
776	353	29
67.0%	30.5%	2.5%

(ケ) 辞めたいと考えた理由

勤務時間内の仕事が終わらない	431	37.2%
自分は看護職に向いていないのではないかと思う	410	35.4%
配属部署の専門的な知識や技術が不足している	382	33.0%
医療事故を起こさないか心配である	378	32.6%
基本的な技術が身についていない	347	30.0%
自分の看護が患者のニーズにこたえているか自信がない	300	25.9%
自分のペースで仕事ができない	290	25.0%
仕事の優先順位が付けられない	271	23.4%
職場の先輩に質問しづらい	237	20.5%
看護職を辞めたいと思っている	199	17.2%
ヒヤリハットレポートを書いた	189	16.3%
受け持ち患者が多すぎる	189	16.3%
就職前に考えていた看護の仕事とギャップが大きい	186	16.1%
職場の雰囲気になじめない	174	15.0%
与えられる課題等があって休日に休めない	169	14.6%
看護業務以外の業務が多すぎると感じる	152	13.1%
医師との意思疎通がうまくいかない	100	8.6%
十分な教育研修が受けられていないと感じる	97	8.4%
プリセプターと合わない	96	8.3%
夜勤に入るのが早いと感じる	77	6.6%
患者及び家族とのコミュニケーションがうまくとれない	75	6.5%
電話の対応がうまくできない	74	6.4%
プリセプターからの1人立ちが早いと感じる	73	6.3%
直属の上司からサポートが得られない	67	5.8%
交代制の勤務に慣れない	55	4.7%
院内のITシステムがうまくいかない	31	2.7%
夜勤のリーダー業務が負担である	18	1.6%
無回答	0	0.0%

(コ) 辞める事を思いとどまった理由

生活していくための手段	454	39.2%
自分なりに整理がついたから	210	18.1%
収入が安定しているから	181	15.6%
同僚に相談し、再度やる気になったから	150	13.0%
職場環境が仕事をしやすい環境だったから	91	7.9%
目的・目標を持てたから	58	5.0%
師長等中間管理職に相談し、再度やる気になったから	42	3.6%
上司に認めてもらえたから	46	4.0%
看護管理者が尊敬できたから	29	2.5%
仕事にいきがいを感じたから	14	1.2%
給料が仕事に見合っていたから	21	1.8%
研修の機会が用意されたから	9	0.8%
結婚・出産・育児に家族の協力が得られたから	2	0.2%
その他	85	7.3%

その他

- | | | |
|-----------|-----------|-----------------|
| ○奨学金返済のため | ○辞めづらい | ○先輩・プリセプターのサポート |
| ○業務・環境改善 | ○決断できない | ○辞めても仕方がない |
| ○部署異動 | ○同期励まし | ○意地・負けたくない |
| ○辞職検討中 | ○休日リフレッシュ | ○再就職が難しい |

ウ. 求人施設（県内病院の看護管理者）

対象施設数：286施設 回収数：180施設（回収率：62.9%）

(ア) 施設の所在地

千葉	市原	船橋	市川	松戸	東葛	印旛	利根	山武	長夷	君津	安房	無回答
37	10	24	11	12	24	13	15	6	9	8	11	0
20.6%	5.6%	13.3%	6.1%	6.7%	13.3%	7.2%	8.3%	3.3%	5.0%	4.4%	6.1%	0.0%

(イ) 稼働病床数

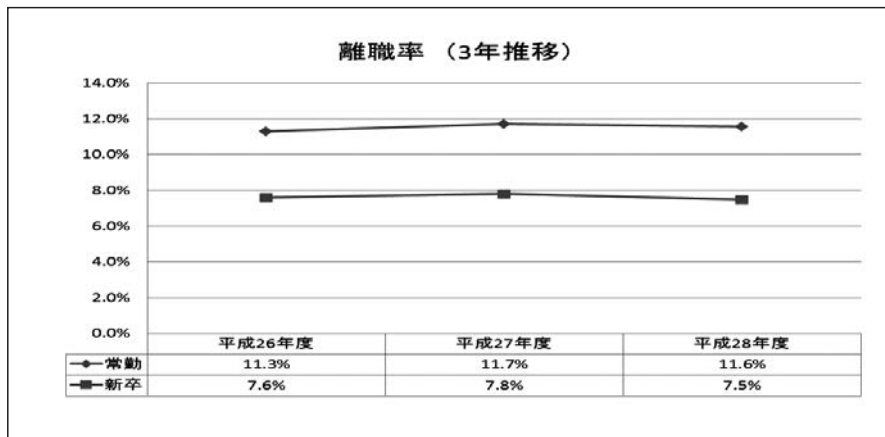
	一般病棟	療養病棟	結核病棟	精神病棟	その他
許可稼働数	25,578	4,929	110	6,955	5,152
稼働病床数	23,488	4,556	83	5,532	4,886

(ウ) 地域との連携体制 連携する部署

あり	なし	無回答
121	29	30
67.2%	16.1%	16.7%

(エ) 常勤看護職員の離職率 11.6%

(オ) 新卒看護職員の離職率 7.5%



(カ) 看護職員の超過労働を減らす具体的な対応策（複数回答）

対策している（n= 158）								対策して いない	無回答
看護職員の増員	看護職員以外の 職員の増員	看護職員の業務 分担の見直し	看護職員と他職 種との業務調整	業務量に応じた 柔軟な人員配置	その他	特になし			
158	85	80	116	101	102	12	0	19	3
87.8%	53.8%	50.6%	73.4%	63.9%	64.6%	7.6%	0.0%	10.6%	1.7%

- 時差出勤・終業
- ノー残業デー
- WLB推進事業参加
- 部署間の応援体制
- PNS導入
- 多様な勤務形態
- 労務管理に関する研修会
- DINQLデータベース事業参加
- 看護部事務の一部を総務が行う

(キ) 多様な勤務形態導入状況（複数回答）

導入している（n= 119）											導入して いない	無回答
フレックス タイム	ワーク・シェ アリング	時差出勤 終業	在宅勤務	学期間労働	期間限定労働 時間短縮	年間労働時 間契約制	圧縮労働 時間制	短時間正 職員制度	その他			
119	27	3	73	0	9	19	7	6	60	14	57	4
66.1%	22.7%	2.5%	61.3%	0.0%	7.6%	16.0%	5.9%	5.0%	50.4%	11.8%	31.7%	2.2%

- その他
- 夜勤専従（正職員・パート）
 - 一定期間 土、日、祝日勤務免除（常勤）
 - 2交替・3交替勤務の選択
 - 変形労働時間
 - 夜勤免除
 - 4段階の勤務区分制度

(ク) 多様な勤務形態導入状況（複数回答）

	取り組んでいる（n=159）						取り組んでいない	無回答
	看護職員の増員	看護職員以外の職員の増員	看護職員の業務分担の見直し	看護職員と他職種との業務調整	業務量に応じた柔軟な人員配置	その他		
159	80	49	84	54	106	19	19	2
88.3%	50.3%	30.8%	52.8%	34.0%	66.7%	11.9%	10.6%	1.1%

その他

<input type="checkbox"/> 育児短時間・部分休業 <input type="checkbox"/> 短時間勤務 <input type="checkbox"/> 院内保育室	<input type="checkbox"/> 24時間保育室常設 <input type="checkbox"/> 育児・介護休暇 <input type="checkbox"/> 託児所利用料補助	<input type="checkbox"/> 学童期のフレックスタイム <input type="checkbox"/> 病児保育
---	---	--

(ケ) 看護職員の卒後の教育研修体制

a. 教育部門の教育研修責任者の配置状況

	配置あり（内訳 n=142）				配置なし
	専従	専任	両方	無回答	
142	31	106	0	5	38
78.9%	17.2%	58.9%	0.0%	2.8%	21.1%

b. 各部署(看護)単位の教育研修担当者(プリセプターを除く)配置状況

全ての部署で配置			一部の部署で配置			配置していない	無回答
	平均人数	平均部署数		平均人数	平均部署数		
106	5.6	5.9	22	6.4	6.4	46	6
58.9%			12.2%			25.6%	3.3%

c. 新卒看護職員の教育研修体制について

	業務に支障なく研修を受講できる人員配置	看護部門に教育研修責任者を配置	病院間連携による教育研修の実施	教育研修担当者の資質向上のための支援	教育研修担当者の業務量への配慮	その他
すでに取り組んでいる	101 56.1%	97 53.9%	53 29.4%	99 55.0%	69 38.3%	7 3.9%
取り組みの拡充・新たに開始予定	6 3.3%	9 5.0%	5 2.8%	15 8.3%	6 3.3%	3 1.7%

その他

<input type="checkbox"/> eラーニング <input type="checkbox"/> 看護協会の研修参加	<input type="checkbox"/> OJT <input type="checkbox"/> 教育担当看護師長・専従看護師によるラウンド	<input type="checkbox"/> 個人面談
---	--	-------------------------------

d. 全看護職員の卒後研修体制のシステム化状況

システム化されている	システム化されていない	検討中	無回答
86	59	33	2
47.8%	32.8%	18.3%	1.1%

e. クリニカルラダー(キャリア開発ラダー) 導入状況

システム化されている	システム化されていない	検討中	無回答
69	64	46	1
38.3%	35.6%	25.6%	0.6%

(コ) メンタルヘルスに対する相談体制

a. 導入状況

導入している	導入していない	検討中	無回答
125	22	31	2
69.4%	12.2%	17.2%	1.1%

b. 相談対応者（複数回答）

専門家	看護部局師長	医師	その他	無回答
49	54	35	15	3
53.3%	58.7%	38.0%	16.3%	3.3%

その他の対応者

○臨床心理士	○院長	○心理カウンセラー
○保健師○外部産業医	○事務職（事務長・総務課長・事務員）	
○教育担当師長	○精神看護専門看護師	

(サ) ナースセンターの事業について

a. ナースセンターの無料職業紹介の利用

している	していない	無回答
97	76	7
53.9%	42.2%	3.9%

(シ) 届出制度

a. 離職者へ説明

している	していない	無回答
156	21	3
86.7%	11.7%	1.7%

② 看護職の再就業者実態調査

調査目的：ナースセンター事業において再就業した者の実態を把握し、今後の再就業促進に向けた支援方法のあり方を検討する。

調査対象及び調査方法、調査期間

調査対象	調査方法	調査期間
平成27年度千葉県ナースセンター登録の再就業者 (臨時雇用での就業者を除く)	返信用封筒を同封した調査票を 郵送・回収	平成28年9月1日～平成28年9月20日

調査結果の概要

対象者数：102名 回収数：56名（回答率：54.9%）

ア. 回答者居住地区

千葉	市原	船橋	市川	松戸	東葛	印旛
23	1	6	7	0	3	6
41.1%	1.8%	10.7%	12.5%	0.0%	5.4%	10.7%

利根	山武	長夷	君津	安房	県外	無回答
0	0	1	3	0	1	5
0.0%	0.0%	1.8%	5.4%	0.0%	1.8%	8.9%

イ. 性別

女性	男性
55	1
98.2%	1.8%

ウ. 就職時の就業状況

就業中	未就業	無回答
16	37	3
28.6%	66.1%	5.4%

エ. 年齢

	(n=56)	未就業 (n=37)	転職 (n=16)	無回答 (n=3)
20代	2	1	1	0
	3.6%	2.7%	6.3%	0.0%
30代	12	9	3	0
	21.4%	24.3%	18.8%	0.0%
40代	29	19	7	3
	51.8%	51.4%	43.8%	100.0%
50代	11	7	4	0
	19.6%	18.9%	25.0%	0.0%
60代	2	1	1	0
	3.6%	2.7%	6.3%	0.0%
無回答	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

オ. 資格

保健師	助産師	看護師	准看護師	無回答
11	3	33	8	1
19.6%	5.4%	58.9%	14.3%	1.8%

カ. 未就業者のブランク期間

6か月未満	～1年	～2年	～3年	～4年	～5年	～10年	～15年
13	5	4	2	2	0	6	2
35.1%	13.5%	10.8%	5.4%	5.4%	0.0%	16.2%	5.4%

～20年	～25年	～30年	無回答
0	1	0	2
0.0%	0.0%	3.4%	3.4%

キ. 現在勤務している施設で働き続けられている理由（複数回答）

	(n=36)	未就業	転職	無回答
		(n=26)	(n=10)	(n=0)
再就業支援のプログラムがあった	1 2.8%	1 3.8%	0 0.0%	0 0.0%
プリセプターがついてくれる	2 5.6%	2 7.7%	0 0.0%	0 0.0%
看護ケアが充実している	3 8.3%	2 7.7%	1 10.0%	0 0.0%
希望する看護領域	11 30.6%	7 26.9%	4 40.0%	0 0.0%
キャリアアップの機会がある	2 5.6%	1 3.8%	1 10.0%	0 0.0%
医療安全対策が充実している	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
上司との関係が良い	16 44.4%	12 46.2%	4 40.0%	0 0.0%
同僚との関係が良い	21 58.3%	16 61.5%	5 50.0%	0 0.0%
勤務時間が自分の生活スタイルに合っている	26 72.2%	19 73.1%	7 70.0%	0 0.0%
短時間勤務ができる	13 36.1%	10 38.5%	3 30.0%	0 0.0%
夜勤を軽減・免除する体制がある、 又は夜勤がない	8 22.2%	5 19.2%	3 30.0%	0 0.0%
休暇が取りやすい	16 44.4%	13 50.0%	3 30.0%	0 0.0%
給与が希望にあっている	6 16.7%	3 11.5%	3 30.0%	0 0.0%
通勤に便利	25 69.4%	17 65.4%	8 80.0%	0 0.0%
福利厚生が充実している	4 11.1%	2 7.7%	2 20.0%	0 0.0%
子育て支援策が充実している	1 2.8%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%
家族の支援がある	3 8.3%	3 11.5%	0 0.0%	0 0.0%
その他	1 2.8%	1 3.8%	0 0.0%	0 0.0%

その他：希望地区の病院

ク. 就職活動で利用した職業紹介所等について（複数回答）

	(n=56)	未就業	転職	無回答
		(n=37)	(n=16)	(n=3)
千葉県ナースセンター	44 78.6%	32 86.5%	11 68.8%	1 33.3%
公共職業安定所、ジョブカフェ等	30 53.6%	19 51.4%	10 62.5%	1 33.3%
民間の就職あっせん業者	9 16.1%	4 10.8%	4 25.0%	1 33.3%
派遣業者	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	7 12.5%	4 10.8%	2 12.5%	1 33.3%

その他：【未就業】他県のナースセンター、折込チラシ

【転職】ホームページ

ケ. 再就業のきっかけ（複数回答）

	(n=56)	未就業	転職	無回答
		(n=37)	(n=16)	(n=3)
今までに得た職業経験や技術・資格を活かす	30 53.6%	20 54.1%	9 56.3%	1 33.3%
専門的な経験をより高めたい	8 14.3%	6 16.2%	2 12.5%	0 0.0%
社会に出たい	17 30.4%	13 35.1%	3 18.8%	1 33.3%
友人・知人にすすめられた、誘われた	4 7.1%	4 10.8%	0 0.0%	0 0.0%
生活費のため	26 46.4%	17 45.9%	8 50.0%	1 33.3%
子育てが一段落し、自由な時間ができた	8 14.3%	6 16.2%	2 12.5%	0 0.0%
将来や老後への備えた貯蓄	10 17.9%	6 16.2%	3 18.8%	1 33.3%
自分で自由に使える収入を得る	4 7.1%	3 8.1%	0 0.0%	1 33.3%
教育費や住宅費（住宅ローンを含む）のため	16 28.6%	11 29.7%	5 31.3%	0 0.0%
その他	4 7.1%	3 8.1%	1 6.3%	0 0.0%

その他：【未就業】・キャリアアップの機会 ・新卒入職
【転職】・進学との併用のできる職場 ・家庭の都合のため

コ. 就職先決定の決め手（複数回答）

	(n=56)	未就業	転職	無回答
		(n=37)	(n=16)	(n=3)
看護領域・看護内容・業務内容	21 37.5%	17 45.9%	3 18.8%	1 33.3%
勤務時間	39 69.6%	27 73.0%	10 62.5%	2 66.7%
再就業の支援プログラム	3 5.4%	2 5.4%	0 0.0%	1 33.3%
立地（通勤に便利な場所等）	29 51.8%	19 51.4%	9 56.3%	1 33.3%
子育て支援	4 7.1%	3 8.1%	1 6.3%	0 0.0%
保育施設	1 1.8%	1 2.7%	0 0.0%	0 0.0%
キャリアアップ支援	3 5.4%	2 5.4%	1 6.3%	0 0.0%
給与	9 16.1%	6 16.2%	3 18.8%	0 0.0%
休日・休暇制度	9 16.1%	5 13.5%	4 25.0%	0 0.0%
宿舍・寮	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
家族の支援・同意	2 3.6%	1 2.7%	1 6.3%	0 0.0%
その他	5 8.9%	5 13.5%	0 0.0%	0 0.0%

その他：【転職】・職場の雰囲気 ・長いブランクを受け入れてくれたから ・新人の離職率の低さ

4 医療・看護における安全対策

医療安全推進週間の推進

1. 目的：県民への安全・安心な医療・看護の提供に寄与することを目的に、医療安全推進週間に関する行事として「医療安全大会」の開催や「医療安全に関する標語」の公募や優秀標語を使用したポスター等を活用し、医療従事者の意識の向上と組織的取り組みの促進から医療安全の普及啓発を図る。

2. 第12回 医療安全大会

(1) テーマ：「多職種連携で前進する医療安全 ～多職種連携の成功の鍵とは～」

(2) 日時：平成28年11月13日(日) 10:30～16:15

(3) 会場：幕張メッセ国際会議場 (国際会議室・中会議室201)

(4) 参加人数：746名(看護職501名、他職種129名、関係者116名)

(5) 内容：① 医療安全に関する標語 表彰式

② 講演

「医療訴訟の観点から見た医療安全対策の課題
～個人から、多職種チームに、そして組織で～」

講演者：稲葉 一人 (中京大学法科大学院 教授)

③ パネルディスカッション

「多職種連携の成功の鍵とは ～各職種の医療者個人及び組織全体の視点から～」

パネリスト：北村 享之 (東邦大学医療センター佐倉病院 麻酔科教授)

小西 寿子 (東京女子医科大学病院 薬剤部 主任)

三浦 國男 (医療法人新都市医療研究会「君津」会 玄々堂君津病院

透析統括顧問 (臨床工学技士)

高木 弘枝 (独立行政法人労働者健康安全機構 千葉労災病院

皮膚・排泄ケア認定看護師)

小林 美智子 (日本メディエーター協会 首都圏支部理事)

座長：稲葉 一人 (中京大学法科大学院 教授)

小賀坂 好子 (公益社団法人千葉県看護協会 医療安全委員会委員長

帝京大学ちば総合医療センター 副院長補佐・看護部長)

④ 医療安全対策関連企業の展示

最新の医療資機材紹介：中会議室201 (企業展示17社)

(6) まとめ：

「多職種連携」をキーワードに4年間取組み、今年度はテーマのまとめとして「成功の鍵とは」を副題に、講演やパネルディスカッションを組み立てた。その結果、多職種連携に必要といわれるコミュニケーションを、ただ大切というだけでなく具体策として、「それぞれの職種の視点を活かし、その立場で何を観ているか、何をするか、何を危惧しているか等、具体的に説明をすることが必要である。」また、「多職種の意見・説明に対し、耳を傾け意見を受け止め、話し合うことが大切である。」更に、「互いの職種に対するリスペクトが大事である」等が話され、多職種連携を実践していく上で「成功の鍵」が示唆された。

参加者は、県内120/287病院(41.8%)や病院外施設20施設の参加もあり、昨年より100名増の630名の参加があった。職種別では、看護職501名(79.5%)、他職種129名(20.5%)と例年に比べ他職種参加が増えていることから、多職種連携が徐々に浸透してきたことが伺える。

3. 医療安全に関する標語、ポスターでの普及啓発

(1) 募集内容：医療安全を推進する上で、多職種が共通活用できる標語

(2) 募集結果：応募数925作品

(3) 入選作品：

優秀賞	「安全は、部門を越えた対話から」 社会福祉法人聖隷福祉事業団 聖隷佐倉市民病院	石川 英男
佳作	「チーム医療、心をひとつに、安全確保」 公益社団法人地域医療振興協会 東京ベイ・浦安市川医療センター	看護部
	「安全の 意識高める 組織力」 医療法人社団創進会 みつわ台総合病院	総務課
	「声掛けで、つながる心と医療安全」 IMSグループ医療法人財団明理会 新松戸中央総合病院	医療福祉相談室
	「はっとする あなたの気付き 宝物」 船橋市立医療センター	石井 雅美

(3) 医療安全ポスターの作成と配布：

医療安全に関する標語の優秀標語と優秀賞受賞施設職員の写真を組み合わせたポスターを作成し、県内医療機関や会員施設(団体)等に配布

(4) まとめ：

多職種を含む医療従事者からの応募も浸透し、年々応募数が増加している。今年度は事務職が優秀賞に輝く等、医療の現場に従事している職種が、医療安全を意識し業務に従事する上で、標語の取り組みが活用されていると考える。

医療安全管理者の育成

医療安全担当者交流会の開催

1. 医療安全担当者地区交流会

(1) 目的：地域において医療安全を推進していくためには、施設の壁を越え多職種間で連携することが重要であり、よりフレキシブルな体制作りや広い視野の情報交換が求められる。県内各地域において医療安全担当者間の情報共有とスキルアップの支援を図るため、医療安全担当者による地区交流会を実施する。

(2) モデル地区・日程・場所：

地区	日程	場所
君津	11月18日(金)13:30~16:00	君津中央病院 4階講堂
安房	11月15日(土)13:30~16:00	亀田医療大学 本館4階 第3講義室

(3) 参加人数：

地区	参加者総数	内訳
君津	32名	一般参加者19名：看護職13名・他職種6名、関係者：13名
安房	65名	一般参加者54名：看護職29名・他職種25名、関係者：11名

(4) 内容：

講演・演習 テーマ：「医療安全の推進におけるチームステップス研修を体験してみよう」
講師：鈴木 真（亀田総合病院 産婦人科部長、総合周産期母子医療センター長、
チームステップス推進委員会委員長）

(5) まとめ：

協会で開催する医療安全担当者中央交流会等への参加が少ない安房地区・君津地区をモデル地区に選定し地区部会研修会として実施した。参加者は安房地区19名、君津地区54名であった。

研修内容は「チームステップス研修 基礎編」とし、チームステップスを知っている人も知らない人も体験をとおして交流が深められ、参加者や地区役員からは「内容もわかりやすく、楽しんで参加でき良かった」との意見があり、地区内の交流を深め情報共有を行うために有効な内容であるが、交流を深め連携に繋げるためには、1回の開催では難しいと考えられる。そのため、2回目の研修内容も1回目と同様に「チームステップス研修」を活用し、3回目以降は地区内で継続して交流が持てるよう、1回目の開催時からその後の継続を考えた取組を考えていく。

2. 医療安全担当者中央交流会

(1) 目的：県内の医療安全担当者間の情報共有とスキルアップを支援することにより、県民に安全・安心な質の高い医療・看護を提供する。

(2) ねらい：記録に関する現状の課題及び改善方法について等を学び、現場に即した実践力を高める。また、同じ立場で活動している看護職間の連携を深め、各自の課題・各施設の多職種連携の強化に向けた情報交換・検討を行い、今後の活動の参考とする。

(3) 日時：平成29年2月4日(土) 10:00~16:00

(4) 会場：千葉県看護会館 2階大研修室

(5) 参加人数：87名（専従16名、専任9名、兼任44名、その他6名、関係者12名）

(6) 内容：

① 講演

「正しく行った医療行為を正確に記録に留める」

磯野 敏和（学校法人植草学園 植草学園大学 事務局長）

② グループワーク

「医療安全担当者として活動している上での悩み、課題」

ファシリテーター：医療安全委員(看護職3名)、県内専従医療安全管理者等(4名)

(7) まとめ：

講演内容は、医療安全の視点からの看護記録の記載についてであり、「そのまま現場で生かせる内容でありとても役立つ」との感想が聞かれ、有意義なものであったと考えられる。

グループワークは、グルーピング方法を課題選択制で、職務・役職を考慮した結果、「先に希望のテーマをアンケートしてもらえ、同じ様な立場の方々の悩みを聞くことができ、今後役に立てることができる」との意見があり、効果的だったと考える。また、「他病院の様子や対策など聞けて良かった。他グループの発表（他課題の対策）も参考になった」との意見があり、グループワークの方法（検討→まとめ→発表）も良かったと考える。中には、1つの課題検討ではなく、フリーにディスカッションし、情報交換できると期待して参加された方は、「交流会とは違う場であると感じた」との意見であった。多くの方は、各課題のディスカッションにて、他者の活動に刺激を受けたり、自己の活動の振り返りや今後の活動の参考となったり、同じような立場の方とのコミュニケーションが取れたことからネットワークが広がり、今後の活動に期待できる結果が得られたと考える。

Ⅲ 訪問看護の推進に関する事業

1 訪問看護推進事業（県委託事業）

(1) 訪問看護に関する総合相談

相談内容の内訳

相談内容等	件数
指示書、施設運営、施設への訪問等	45
訪問看護に適応される保険種別	21
訪問看護の加算や算定に関すること	11
処置に関すること	6
介護に関すること	5
その他（ステーションの紹介希望、訪問看護料金、パンフレットの内容等）	20
計	108

相談者	件数
看護職	34
県民	22
ケアマネジャー	15
リハビリスタッフ	10
MSW	9
その他（事務員、介護福祉士、看護学生、行政等）	18
計	108

(2) 訪問看護の普及啓発事業

看看連携・看看ケアマネ連携フォーラムの開催（地区別開催：長夷地区・印旛地区）

目的：在宅医療の中核を担う訪問看護の役割を地域に浸透するために、在宅ケアに関わる職種との意見交換等を行い、訪問看護の役割について理解を深める。その中で、訪問看護師と病院等の看護師、訪問看護師と介護支援専門員が連携をすることで、訪問看護についての理解を深め訪問看護が円滑に導入されることを目的に開催する。

	印旛地区 「看看ケアマネ連携フォーラム」 平成28年10月22日（土）	長夷地区 「看看連携フォーラム」 平成29年1月14日（土）
テーマ	一緒に利用者さんの生活を考えませんか	一緒に患者さんの退院後の生活を考えませんか
内 容	<p>【グループディスカッション】 「一緒に利用者さんの生活を考えませんか」 【ファシリテータ】 北総白井訪問看護ステーション 所長 下村登志江 訪問看護ステーションわらび 所長 望月あけみ 訪問看護ステーション「いちご」 所長 木所 律子 コープみらい四街道訪問看護ステーション 所長 福島 一美 セントケア訪問看護ステーション佐倉 所長 荻巣美恵子 訪問看護ステーション成田の未来 所長 松井 朋子</p>	<p>【講義】 「長生病院における退院支援の現状」 公立長生病院 副看護部長 江澤 京子 「訪問看護の役割について」 やすらぎの郷訪問看護ステーション 所長 岡嶋 恵子 【グループディスカッション】 「退院後も患者さんが安心して生活するために、私達にできること」 【ファシリテータ】 やすらぎの郷訪問看護ステーション 所長 岡嶋 恵子 亀田訪問看護ステーション勝浦 所長 中内 陽子 岬訪問看護ステーション 所長 新井 君江 茂原市長生郡医師会訪問看護ステーション 所長 古谷ゆり子</p>
参加者内 訳	67名（関係者含む） 病院看護師（24名） 訪問看護師（6名） 地域包括支援センター看護職（8名） 介護支援専門員（20名）	26名（関係者含む） 病院看護師（11名） 施設看護師（2名） 地域包括支援センター看護職（4名）

(3) 訪問看護師再就職支援事業

① 訪問看護基礎研修会（再掲）※ナースセンター事業

目的：在宅療養者に質の高い訪問看護を提供する看護師の確保・定着を図るために訪問看護の基礎的な内容を学ぶことで就労に向けての動機づけと訪問看護の役割を理解する。

内容：半日コース 講義：訪問看護活動に要する基礎的な内容

1日コース 講義：半日コースと同様

技術体験：吸引・胃瘻・膀胱留置カテーテル・摘便

日時・場所・講師：

開催日	開催場所	講師	受講者
6月18日(土) 9:30~12:30	浜町公民館 (船橋市)	ふたわ訪問看護ステーション 所長 大桐四季子	11名
7月5日(火) 13:30~16:30	サンプラザ市原 (市原市)	梅香苑訪問看護ステーション 所長 並木 令子	4名
7月12日(火) 9:30~15:30	看護会館 (千葉市)	セントマーガレット訪問看護ステーション 所長 榊原真由美 まくはり訪問看護ステーション 所長 佐藤 富子	19名
9月10日(土) 13:30~16:30	ミレニアムセンター佐倉 (佐倉市)	コープみらい四街道訪問看護ステーション 所長 山橋 直子	9名
10月18日(火) 9:30~15:30	看護会館 (千葉市)	千葉メディカルセンター 看護師長 神谷 明美 てんだい訪問看護ステーション 主任 高橋 恵子	18名
10月27日(木) 9:30~12:30	市川市文化会館 (市川市)	新松戸ロイヤル訪問看護ステーション 主任 関屋 博子	3名
11月19日(土) 9:30~12:30	流山市生涯学習センター (流山市)	訪問看護ステーションさわら 吉村 真里	14名
2月7日(火) 9:30~15:30	看護会館 (千葉市)	船橋二和病院 副総看護師長 佐々木ゆかり まくはり訪問看護ステーション 所長 佐藤 富子	22名

事前申込数123名、受講者合計100名、受講後の訪問看護就業者8名

アンケート結果より（アンケート回収97名）

【1. 年齢】

20代	6名
30代	24名
40代	31名
50代	22名
60代以上	14名

【2. 受講時の就業状況】

未就業	48名	【就業場所】 病院・診療所、施設、デイサービス等
就業中	49名	【未就業期間】 1年未満19名、5年以上10名

【3. 研修を知ったきっかけ】（重複回答）

看護協会からの郵便チラシ	33名
ハローワーク内設置チラシ	11名
市町村の広報誌	8名
看護協会ホームページ	7名
看護協会館内設置のチラシ	7名
ナースセンター設置のチラシ	6名
職場上司から紹介	6名
新聞チラシ	5名
その他	15名

【4. 受講後の訪問看護への意識】（重複回答）

訪問看護の仕事に興味・関心が高まった	70名
訪問看護の現場を見てみたい	37名
訪問看護についてもっと話が聞きたい	24名
訪問看護の仕事は難しい	12名
病院・施設内でこの知識を活かしたい	10名

【6. 訪問看護師として働きたいか】（重複回答）

すぐに働きたい	18名
いずれ働きたい	55名
訪問看護師以外を検討	11名
現在の状況をしばらく維持	9名
未回答	10名

② 訪問看護就職フェア

目的：在宅医療の中核を担う訪問看護の重要性が高まる中、本県では訪問看護の担い手が不足しており、人材確保が急務となっている。看護学生や再就業を希望する潜在看護師並びに看護師養成施設の教員等を対象に「訪問看護師就職フェア」を開催することにより、訪問看護への興味・理解を深め、もって潜在看護師等や看護学生の訪問看護ステーションへの就業の促進を図る。

プログラム：

内 容	講師・担当者	場所
①新人訪問看護師物語	ちば訪問看護ステーション 赤羽 創 (新卒) 恵泉マリア訪問看護ステーション 片桐 糸珠 (潜在)	大研修室
②訪問看護の魅力を伝えます ～訪問看護認定看護師から	まくはり訪問看護ステーション 所長 佐藤 富子	
③各訪問看護ステーションPR	各訪問看護ステーション所長 (個別就職相談参加事業所)	
④訪問看護ステーション個別就職相談 ⑤技術体験	各訪問看護ステーション所長 千葉県訪問看護ステーション連絡協議会	大研修室 中研修室
【常設】キッズコーナー、チーバくと写真を撮ろう、総合相談、訪問看護カフェ		2階ロビー

アンケート結果より (アンケート回収23名)

【1. 参加者の職種内訳】

	人数
看護職	17
看護学生	3
教員	1
その他	2
合 計	23

【2. 参加したきっかけ】 (重複回答)

	人数
ハローワーク	3
銀行	0
飲食店	0
コンビニ・スーパー	0
看護協会HP	6
教員	3
友人・知人	4
看護協会からのチラシ	6
その他 (訪問看護、協会職員、スタッフが発表)	6

【3. 感想】

	件数
実際の活動状況を知ることができて参考になった。	6
訪問看護の喜び、感動、魅力、醍醐味を感じた。励まされた。	6
色々なステーションの話がきけて、特徴がわかり良かった	5
新卒の訪問看護師の話が参考になった。成長がよくわかった。	4
興味はあるが難しいと思っていた。しかし話を聞いて挑戦してみたくなった。	4
訪問看護の教育課程やサポート体制を知り、安心した。	2
子育てとの両立に不安があったが、短い時間からできることを知って良かった。	1
新卒者でも訪問看護ステーションへの就職を選択できる事実がわかった。	1

【まとめ】

訪問看護に関する総合相談については、昨年とほぼ同様の相談件数であった。今年の特徴として、リハビリスタッフからの相談が例年に比べて増加しており、訪問看護ステーションにリハビリスタッフが aumentando いる現状と比例している。県民からの相談は例年通りであり、相談の多くは訪問看護サービスを利用する場合の手続き等に関しての内容であった。

訪問看護の普及啓発に関して、印旛地区で開催した看看ケアマネ連携フォーラムは、訪問看護を退院早期から利用することを目的の一つにしており、ファシリテーターの訪問看護師と事前打ち合わせを行い、その目的は達成できた。3年目以降の活動内容について地区担当者から相談を受けており、他地区の活動例等に

ついて情報提供したところである。今後も、実現に向けて引き続き支援を継続していきたい。また、長夷地区で開催した看看連携フォーラムは、参加者は少なかったが、看護職同士が患者の退院後の支援について話ができるこのような機会を継続して開催したいと、意欲的であった。来年度は地域のニーズに沿った内容で2年目のフォーラムを開催したい。

訪問看護師再就業支援に関して、①訪問看護基礎研修会は、主に潜在看護師を対象に、訪問看護師としての再就業に向けての動機づけ研修として実施している。アンケート結果から、広報では個人会員宛での通知やハローワーク、市町村広報誌への掲載等が効果的であった。開催日については、各地での開催は土曜日が平日より受講者数が多く、各地での開催は土曜日としたほうが効果的である。また、開催場所として、看護会館の方が各地より受講者数が多いことから、半日研修を土曜日に看護会館で開催する方向で考えたい。

②訪問看護就職フェアは、実際の求職者の参加が少なく、参加事業所の地域の偏りもあったため、個別相談ブースへの誘導が難しかった。内容について、新卒・潜在看護師の体験談は訪問看護師として働くことへの動機付けとしては有効であった。次年度、体験談は継続して行い、個別就職相談については千葉県訪問看護ステーション連絡協議会に担当してもらおう方向で共催を依頼したい。

2 訪問看護推進事業（協会単独事業）

(1) 訪問看護師人材育成事業

	総数（名）	総数の内訳	
		新卒（名）	既卒（名）
平成28年度支援対象者	7	4	3
うちH28年度新規支援対象者	6	3	3
平成28年度支援修了者	3	1	2
平成28年度支援終了者（中止）	1	0	1
平成24年度からの支援者累計数	27	9	18

【まとめ】

- ・ 新卒1年目の3名は、入職後1年が経過し受持ち利用者を複数名担当し、単独訪問を行っている。振り返りカンファレンスで、自己の課題を明確にして、自主的に学んでいる。H28年度は、新卒2年目1名及び潜在2名がプログラムによる育成を終了した。
- ・ 各事業所でも人材育成の必要性を感じているが、時間や指導者の確保等、様々な要因からプログラム導入につながらない現状もあるが、訪問看護師の量的・質的確保のために支援を継続していく。

IV 県民の健康・福祉の増進に関する事業

1. 「看護の日」「看護週間」事業

第26回県民が集う「看護の日」

- (1) 目的：県民が集う「看護の日」として、県民一人ひとりが看護についての関心と理解を深めると共に、県民とともにあゆむ信頼される看護のイメージづくりを図り、健康で安心して暮らせる社会づくりの実現に寄与する。
- (2) テーマ：「地域で輪となりつなげる看護」
- (3) 主催：(公社)千葉県看護協会
- (4) 共催：千葉県
- (5) 実施日・会場等

① 地区部会行事

実施日時：平成28年5月14日(土) 12地区部会が決定した時間

会場：各地区詳細以下のとおり

地区	時間	場所
千葉	13:00~16:00	千葉市ハーモニープラザ 1階 エントランスホール及びロビー
市原	13:00~16:00	ユニモちはら台
船橋	10:30~15:00	東武船橋駅コンコース さざんかさっちゃん前
市川	11:00~15:00	市川市中央図書館 1階ロビー
松戸	10:00~14:00	松戸駅東西連絡通路
東葛	10:00~14:00	道の駅しょうなん
印旛	13:30~16:00	ボンベルタ成田 4階 中央エスカレーター脇
利根	10:30~15:00	イオンモール銚子 1階 いるかの広場
山武	10:00~14:00	東金サンピア 1階ステージコート
長夷	12:30~15:00	茂原ショッピングプラザ「アスモ」 1階 センターコート
君津	10:30~15:00	イオンモール富津
安房	10:00~15:00	イオンタウン館山 コミュニティホール前

(6) 実施結果

地区部会行事の参加人数は、延べ7,265名。

(7) 今年度からの変更部分

- ① 看護功労者知事表彰…7月14日(木)に県庁に於いて表彰。
- ② 看護体験記表彰…7月20日(水)に平成28年度第一回施設等会員代表者会
(於：ポートプラザホテルちば)内で表彰式・体験記発表。

(8) まとめ

骨密度や、血管年齢測定等に人気が集まり、相談ブースも盛況で、県民の健康への関心の高さが伺えた。順番待ちが出る程の盛況な地区もあり、測定の誘導の仕方等今後各地区の情報を集めてよりスムーズに案内できるような工夫が必要と感じた。「楽しみにしている」「気軽に健康の相談ができるのが助かる」という県民の声もあり、今後も継続していく意義のある行事と考える。

2. 「まちの保健室」事業

「まちの保健室」実施状況

平成28年度 常設型「まちの保健室」実施状況（地区部会）

平成28年4月1日～平成29年3月31日

地区	血圧測定		体脂肪測定		身体測定		禁煙相談		更年期相談		思春期子育て支援		肺年齢		血管年齢		骨密度		その他 (健康相談等)		件数(延人数)		年齢構成							協力員				
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	29歳～	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上		不明	合計 (実数)		
千葉	34	11	34	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	7	96	36	132	2	1	9	4	10	23	4	1	54	14
市原	83	54	88	55	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61	45	0	0	0	0	7	2	234	156	390	29	19	31	20	34	43	3	0	179	15
船橋	69	28	69	28	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	5	161	61	222	3	8	11	12	32	42	3	0	111	18
市川	97	77	81	56	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	17	18	0	0	0	0	197	151	348	3	21	32	11	48	57	13	4	189	27
松戸	5	8	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	8	15	20	35	0	2	3	10	4	2	0	0	21	8	
東葛	250	156	257	161	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	281	212	0	0	788	529	1,317	28	27	84	169	433	497	79	0	1,317	36
印旛	409	189	409	189	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	283	67	3	0	1,104	445	1,549	9	12	35	84	318	233	48	2	741	36
利根	165	112	157	98	9	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33	18	0	0	124	72	488	312	800	10	19	21	44	107	92	18	3	314	24
山武	37	18	37	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0	0	39	19	88	31	238	101	339	0	1	3	7	34	24	4	0	73	15
長夷	26	11	13	9	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41	20	61	1	2	3	2	11	21	4	0	44	24
君津	75	17	51	8	38	6	0	0	1	0	0	0	12	4	0	0	0	0	24	3	201	38	239	2	1	3	6	17	48	22	3	102	14	
安房	30	10	19	5	5	7	0	0	1	0	0	0	0	0	0	10	10	0	19	3	84	35	119	6	8	12	4	14	15	7	0	66	8	
合計	1,280	691	1,214	637	52	25	0	0	7	0	0	0	124	76	60	46	603	298	307	131	3,647	1,904	5,551	93	121	247	373	1,062	1,097	205	13	3,211	239	

※東葛地区は、年齢構成も延べ人数で記載

平成28年度 イベント型「まちの保健室」実施状況(地区部会)

平成28年4月1日～平成29年3月31日

地区	行事名	開催日	血圧測定		体脂肪測定		身体測定		禁煙相談		更年期相談		思春期子育て支援		肺年齢		血管年齢		骨密度		その他(健康相談等)		件数(延人数)		年齢構成						合計(人数)	合計(人数)	協力員				
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				男	女		
千葉	ハーモニープラザ ザマニアース 市民健康づくり	7月10日 10月15日	79	17	79	17										51	20	77	21	104	26	28	3	418	104	522	15	65	135	38	92	49	32		426	12	
			189	56	188	51											99	34						189	56	665	197	862	17	15	63	79	171	208	46		599
市原	健康づくり	10月23日	140	56	175	61										172	74			162	64	49	21	698	276	974	30	40	50	50	50	30		250	57		
			113	33	112	34																			225	67	292	8	9	17	8	41	50	15		148	4
船橋	かまがや福祉健康フェア ふなばし健康まつり	11月6日	59	39	60	41																		119	80	199	11	16	21	5	19	26	3	1	102	4	
			51	14	51	14																			102	28	130	2	2	4	5	17	33	2		65	4
市川	健康フェア安浦	10月23日	118	49	163	60																	142	64	423	173	596	9	9	23	20	72	86	23	3	245	13
			58	57	68																				58	57	115				30	45	40			115	2
東葛	がん予防展	9月3日	68	68																				68	68	136				40	51	45			136	2	
			185	71	185	71																		3	373	142	515	2	13	12	18	110	91	10		256	5
印旛	成田市健康福祉まつり	10月16日	40	14																				40	14	54				3	27	20	4		54	2	
			34	10	32	10											27	8	47	10	58	17	198	55	253	2	6	5	12	16	13	6	15	75	12		
利根	がん予防展 in 香取市	2月11日	30	37	27	16										69	45	36	15	173	104	335	217	552	49	4	12	18	13	14	4		114	16			
			2	2	1																			3	2	5				1	1	1	1		4	4	
山武	救急フェア山武2016 城西国際大学祭	9月4日 11月5日	25	35															25	15				50	50	100				10	12	23	25		70	6	
			27	7	29	9	136	29									126	30	128	26			207	56	653	157	810	15	8	13	14	46	90	21		207	27
長夷	アスモ育食フェスタ	4月2日 11月5日	1,218	565	1,102	384	136	29	0	0	0	0	0	0	0	448	158	301	100	374	130	849	321	4,428	1,687	6,115	130	177	345	351	783	839	222	19	2,866	184	
			1,783	1,486	165												606	401	504					1,170	6,115	6,115	130	177	345	351	783	839	222	19	2,866	184	
君津	君津健康福祉のよれあいまつり	10月15日	1,783	1,486	165											606	401	504					1,170	6,115	6,115	130	177	345	351	783	839	222	19	2,866	184		
			1,783	1,486	165												606	401	504					1,170	6,115	6,115	130	177	345	351	783	839	222	19	2,866	184	
小計			1,218	565	1,102	384	136	29	0	0	0	0	0	0	448	158	301	100	374	130	849	321	4,428	1,687	6,115	130	177	345	351	783	839	222	19	2,866	184		
合計			1,783	1,486	165										606	401	504						1,170	6,115	6,115	130	177	345	351	783	839	222	19	2,866	184		

※市原地区の10月23日開催分の血圧測定者性別不明につき、他測定者数と同程度の比率とした。また、実人数不明につき、予測数を記載した。

※東葛地区の9月3日・4日開催分の血圧測定者性別・年齢別不明につき、予測数を記載した。

※君津地区の10月15日開催分その他は性別不明につき他測定者数と同程度の比率とした。

3. 自殺予防対策事業

1. 心の総合相談窓口

(1) 目的：本県では、毎年約1200人前後の自殺者が発生しており、その要因は多岐にわたるが、心の病気が自殺と深く関係していると言われている。こうした状況を受け、本協会では平成22年度に県の「地域自殺対策緊急強化基金」を活用して「心の総合相談窓口」（専用回線）を開設し、看護の専門性を活かして様々な原因について受け止め、相談先の紹介等、解決に向けた支援を行うなど、行政や専門機関と連携した自殺防止対策を推進する。

(2) 相談日：月・水・金 13:00～16:00

(3) 相談件数・内容

① 相談件数 年間 477件 (延417名)

相談件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
実件数	46	32	35	39	39	39	31	36	26	32	30	32	417	87.4%
リピート数	11	7	9	3	3	5	1	8	8	2	3	0	60	12.6%
延件数	57	39	44	42	42	44	32	44	34	34	33	32	477	100%

② 相談者内訳

ア 性別

性別	平成28年度	
女性	289	(69.3%)
男性	114	(27.3%)
不明	14	(3.4%)
合計	417	(100%)

ウ 背景

相談者の背景	平成28年度	
県民	382	(91.6%)
看護職	27	(6.5%)
その他の医療職	0	(0.0%)
福祉職	1	(0%)
看護学生	4	(1%)
その他の学生	3	(0.7%)
その他・不明	0	(0.0%)
合計	417	(100%)
精神受診者	100	(24.0%)

エ 居住地(地区部)

居住地	平成28年度	
千葉	29	(7.0%)
市原	4	(1.0%)
船橋	8	(1.9%)
市川	6	(1.4%)
松戸	6	(1.4%)
東葛	14	(3.4%)
印旛	10	(2.4%)
利根	7	(1.7%)
山武	4	(1.0%)
長夷	7	(1.7%)
君津	11	(2.6%)
安房	9	(2.2%)
県内地区不明	297	(71.2%)
県外	3	(0.7%)
不明	2	(0.5%)
合計	417	(100%)

イ 年齢

年齢	平成28年度	
10代	0	(0.0%)
20代	6	(1%)
30代	5	(1%)
40代	13	(3.1%)
50代	19	(4.6%)
60代	23	(6%)
70代以上	29	(7.0%)
不明	322	(77.2%)
合計	417	(100%)

③ 相談内容

メンタルヘルス関連 (内訳は複数回答)										総合計
人間関係	家庭関係	能力に関する事	身体・健康問題	検査・治療関係	経済問題	進路関係	施設・労働条件	その他		
95 (21.3%)	117 (26%)	14 (3.1%)	148 (33.2%)	88 (19.7%)	40 (9.0%)	24 (5%)	39 (8.7%)	56 (12.6%)	446 (90.3%)	
メンタルヘルス関連以外 (内訳は複数回答)										
施設・労働条件	身体・健康問題	検査・治療関係	進路関係	苦情	その他					
0 (0.0%)	5 (10.4%)	4 (8.3%)	1 (2.1%)	6 (12.5%)	7 (14.6%)	48 (9.7%)				

(4) まとめ

平成22年度に相談窓口を開設以来徐々に周知され、相談件数は増加してきたが、今年度は477件と減少した。その理由として、当窓口の主旨であるゲートキーパーとしての役割を伝えながら対応していることや、平成27年度にカード式広告の改訂時に紹介をする旨を明記したことで、相談窓口の役割であるゲートキーパーの役割が周知されてきたと考える。相談内容は、自殺原因1位である身体健康問題が最も多く、次いで家庭関係や人間関係である。その他、検査や治療についてや経済問題等、多岐にわたる悩みを、ほとんどの方が複数抱えている。相談者は、一般県民が多く、次いで看護職である。周囲の身近な家族や友人だから知られたくない、またその周囲の人や上司等に対する悩みのため、第三者への相談を望む者が多くいることから、相談窓口は継続していきたい。

4. 千葉県小児救急電話相談事業

1. 目的

夜間に起こる小児の急な病気に対する保護者からの電話相談に応じ、保護者の不安を解消し、適切な受診判断を助け、救急医療の適正な利用を促進する。さらに経験豊かな看護相談員を確保し、相談員の資質の向上と円滑な相談対応ができる体制づくりをする。

2. 実施内容

- (1) 相談員の登録・管理 登録相談員数：24名
- (2) 相談員の勤務調整 2ヶ月毎に勤務表作成・調整
- (3) 相談員の研修会

① 登録相談員の研修会開催（年2回）

<第1回>

日 時：平成28年10月30日（日）13：00～16：00

場 所：千葉県看護会館 中研修室

ねらい：・小児皮膚科疾患及び川崎病に焦点をあて、緊急時の適切な受診判断基準を学ぶ。

- ・相談時間の延長等、電話相談事業が拡充する中で、事業の推進体制等について意見交換を行い、相談員の共通理解を図る。

内 容：・「小児救急電話相談事業について」 千葉県小児科医会 会長 佐藤 好範
講義Ⅰ「皮膚から見た感染症の話」 講師 千葉県小児科医会 会長 佐藤 好範
講義Ⅱ「川崎病の話」 講師 東京女子医科大学八千代医療センター
准教授・小児科診療科長 濱田 洋通

- ・研修会参加報告（小児救急電話相談スキルアップ研修会 基礎・実践コース）

報告者 相談員 大沼 彰代

- ・「平成28年度千葉県小児救急電話相談事業体制について」

参加者：28名 千葉県小児救急電話相談員22名、千葉県小児科医会医師3名
千葉県医師会事務局1名、千葉県看護協会事務局2名

<第2回>

日 時：平成29年2月11日（土・祝） 13：00～16：50

場 所：千葉県医師会館 会議室1(第1部)、会議室4(第2部)

ねらい：・小児初期救急の現場にいる医師の講義を聞く事により、現状への理解を更に深め、相談員としての知識の向上を図る。

- ・事業の推進体制等について意見交換を行い、相談員の共通理解を図る。

内 容：第1部「小児初期救急医療研修会」

講演Ⅰ 「アナフィラキシーの診療：クリニックにおける初期対応とその後の患者指導」

講師 千葉市立海浜病院小児科 主任医長 森田 慶紀

座長 小児科アレルギー科中山クリニック院長 中山 義雄

講演Ⅱ 「子どもの事故外傷の特徴 ～小児科医は予防活動をもっとやろう！～」

講師 北九州市立八幡病院 院長

日本小児救急医学会 理事長 市川 光太郎

第2部 ・平成28年度千葉県小児救急電話相談事業体制についての意見交換

参加者：～第1部～102名（相談員16名、講師2名、座長2名、医師会事務局2名、看護協会事務局3名）

※医師名71名、その他医療職6名

～第2部～22名(千葉県小児科医会佐藤会長、相談員16名、医師会事務局2名、看護協会事務局3名)

② 外部研修会への参加者調整

- ・小児救急電話相談スキルアップ研修会（主催：日本小児保健協会）

【基礎コース】

日 時：平成28年6月25日（土）12：00～17：00

会 場：大宮ソニックシティ

内 容：小児救急の電話相談の社会的な意義やスキル、受療行動へのアドバイスとともに相談者に安心を与える電話対応のあり方などの理解を目的とした講義、演習、グループワークなど

受講者：大沼彰代（相談員歴7年）、井上智香子（相談員歴6年）

【実践コース】

日 時：平成28年9月24日（土）13：00～18：00

平成28年9月25日（日）9：00～16：00

会 場：国立オリンピック記念青少年センター

内 容：自らの電話対応の傾向を理解し、相談者をエンパワーメントする相談技法の向上などを目指す
のSP(模擬相談者)を用いた電話相談実技、グループワークによる討議、講義など

受講者：大沼彰代（相談員歴7年）

- ・小児救急電話相談対応者研修（主催：厚生労働省医政局）

日 時：平成29年3月4日（土）10：10～17：15

会 場：(株)WOWOWコミュニケーションズ会議室（横浜みなとみらい）

内 容：小児救急電話相談の目的・役割、電話でのコミュニケーション、事例研究、ロールプレイング、アンケートからの意見交換会

受講者：松坂 亜紀子（相談員歴7年）

③ 新規相談員研修会

日 時：平成28年4月18日（月）15：00～19：30

場 所：千葉県医師会館 地域医療総合支援センター

ねらい：(1) オリエンテーションを受け、相談業務をスムーズに行えるよう学ぶ

(2) 実際の相談業務を見学し、雰囲気を感じる

(3) 相談室の設備や使用方法を覚える

講 師：雨宮 恵美子氏(小児救急電話相談員歴12年)

(4) 千葉県小児救急電話相談事業運営協議会への出席

平成28年10月4日(火) 星野会長、澤田専務理事、福留常任理事出席

(5) まとめ

平成28年度より相談時間が延長となり、看護職からは不安の声もあったが、現在は滞りなく相談業務に従事できている。研修会に関しても2回目の研修会は小児科医会主催の医療研修会と合同で開催しているが、顔の見える連携が取りやすい、新しい情報をいち早く知る事ができ相談業務にすぐ反映できてよい、等概ね好評である。平成28年度は医師へ転送することなく、看護職のみの対応で済んだケースは99.9%と高い水準であり、研修会での質の向上が効果を上げていると思われる。

5. 災害支援対策事業

1. 災害支援ネットワークの強化

- (1) 千葉県看護協会災害対策本部の設置：設置基準(千葉県災害対策本部が設置された時、または会長が必要と判断したとき)
 - ① 「平成28年熊本地震」における災害対策本部を設置 (4/18 13:00)
- (2) 災害時における関係機関との連携
 - ① 日本看護協会及び都道府県看護協会
「平成28年熊本地震」本部設置の時点から日本看護協会と連絡をとり、派遣終結日まで派遣調整を実施
 - ② 千葉県・市町村
「平成28年熊本地震」本部設置時に千葉県には、本部設置の報告、派遣時点から派遣終結日まで派遣場所・人数等を報告(健康福祉政策課・医療整備課・健康づくり支援課)
- (3) 平常時における連携
 - ① 県内施設、日本看護協会等合同防災訓練
平成28年11月29日(火)～12月1日(木)
参加施設：災害支援ナース所属施設73施設、派遣候補者91名、派遣決定者20名
協会内にて災害対策本部設置訓練(協会内全部門参加)
 - ② 九都県市合同防災訓練、市町村等訓練への参加
 - ア 九都県市合同防災訓練千葉県会場訓練
8月27日(土) 茂原市富士見公園
県内災害支援ナース8名参加(内、長夷地区3名)
 - イ 九都県市合同防災訓練千葉市会場訓練
9月4日(日)主会場：稲毛海浜公園
千葉地区部会看護職2名(内、災害支援ナース1名)は稲毛区の穴川コミュニティセンターにて避難所開設・運営訓練に参加
その他、4師会事前打合せ会議(8/4)、訓練実施後意見交換会(9/16)
 - ウ 船橋市総合防災訓練
8月28日(日)船橋市消防指令センター及び市内薬園台南・塚田・南本町・古和釜・八栄小学校
船橋地区部会看護職28名参加
 - ③ 「千葉県災害リハビリテーション支援関連団体協議会」幹事会への出席(9/13、12/13、3/14)
「千葉県災害リハビリテーション支援関連団体協議会の熊本地震に対する被災地支援チーム活動報告会」への出席(6/14)
「千葉県災害リハビリテーション支援関連団体協議会」研修会への出席(1/14)
 - ④ 日本看護協会主催「平成28年度都道府県看護協会災害看護担当者会議」への出席 9/30
 - ⑤ 千葉県、船橋市との「災害時の医療救護活動に関する協定」についての内容確認等の打合せ
(千葉県10/21、船橋市11/4)

2. 災害時に備えた支援体制の整備

- (1) 災害支援ナースの登録促進
3月3日災害医療と看護(実践編)研修時に登録を推奨
- (2) 災害支援ナースの登録・管理
 - ・災害支援ナース登録者 241名(3月末現在)
 - ・災害支援ナースの登録更新 更新24名(対象者28名)

- ・新規会員登録施設（44施設）に「災害救護対応マニュアル」、新規災害支援ナース登録者（57名）に「災害支援ナース必携マニュアル」を追加送付
- ・災害支援ナース登録証用写真の未撮影者に対する写真撮影

(3) 災害時の災害支援ナースの派遣調整

- ・「平成28年熊本地震」における災害支援ナースの派遣（日本看護協会をとおした派遣：レベル3）

派遣期間：4月29日（金・祝）～6月1日（水）

派遣人数：24施設36名、延べ144名

派遣先：熊本県の阿蘇市、菊池郡大津町、阿蘇郡西原村の3市町村4避難所

活動内容：3泊4日、2名体制、被災者の健康管理・衛生指導・環境整備等

- ・「平成28年熊本地震の災害支援ナース派遣に係る報告会（事後研修会）」

日時：平成28年7月13日（水）13：30～17：00

場所：千葉県看護会館 2階中研修室

内容：災害派遣の概要、グループ討議

総評：東京医療保健大学 東が丘・立川看護学部 准教授 石井 美恵子氏

参加者：25名

(4) 災害時必要物品の管理

血圧計、そのままご飯、寝袋等の購入

3. 災害支援ナースの育成

(1) 災害看護研修（基礎編・実践編）（再掲）

- ・災害支援ナースの基礎知識 ～災害看護の第一歩～ 7/6～7/7 修了168名

- ・災害医療と看護（実践編） 3/3～3/4 修了89名

(2) 災害支援ナース更新・再登録要件講習会（旧災害支援ナースフォローアップ研修）」

日時：2月21日（火）9：30～16：30

場所：看護会館2階 大研修室

内容：講義「東日本大震災時のコーディネーター業務の実際」ほか

講師：東京医療保健大学東が丘立川看護学部 准教授 石井美恵子氏

「平成28年熊本地震における災害支援ナースの活動報告」

演習「災害支援ナース活動の実際」机上シミュレーション

「災害支援の心構え」グループワーク

出席者：修了者76名、講師・協会12名

(3) 平成28年度法人会員対象研修「災害支援ナース育成 研修企画・指導者研修」

日時：平成28年12月15日～12月16日

場所：日本看護協会神戸研修センター

受講者：県協会から推薦した2名

4. まとめ

- ・熊本への災害派遣では、全般を通して、事故もなく円滑な災害支援を行うことができた。

今回から、派遣決定した情報を全登録施設に連絡したことで、派遣に選ばれなかった施設も派遣状況を確認でき、円滑な派遣業務につながった。派遣後の報告会では、同じ体験をした仲間と語り合い振り返りをしたこと、講師から派遣時の具体的な質問に対する助言をいただいたことにより、次回、災害支援を行う上での改善につながると期待できる。

- ・日本看護協会との合同派遣訓練では、昨年、終了後アンケートで日本看護協会に希望したとおり、今年度は

候補者全てを派遣決定するのではなく、要請人数どおりの派遣決定としていただけのため、候補者の中に派遣決定された方とされない方が出たことで、実践に近い訓練になった。

- ・九都県市合同防災訓練千葉市会場訓練は、初めて本会場ではなく「避難所開設・運営訓練重点訓練会場」で4師会による仮設診療所医療救護訓練を行い、当協会からは初めて災害支援ナースも参加した。それに先立ち4師会で事前打合せ会議も行って臨んだが、見学者から「災害時にはこのような場所（救護所）ができるのか、安心した」という意見が出ていた。また、訓練終了後に行った千葉市を交えた意見交換会では、必要物品や問診票についての具体的な意見交換や次年度訓練の構想が話し合われる等、災害時を見据えた検討ができた。訓練後の意見交換引き続き活動していくことで、災害時に即座に対応できる形ができると思う。
- ・災害支援ナース育成指導者研修は平成25年度以来3年ぶりの開催であり、2名の修了者が追加となり、千葉県看護委協会の指導者は10名となった。指導者が増え、研修会等で講師やファシリテーターとしての役割を複数が担えるようになることが期待できる。

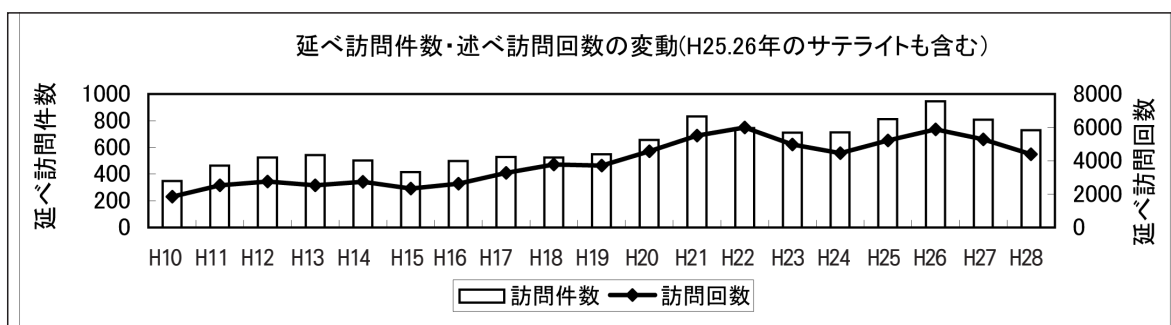
V 介護保険法に基づく指定居宅サービス、居宅介護支援に関する事業 並びに健康保険法に基づく訪問看護に関する事業

1. 訪問看護事業

訪問看護及び居宅介護支援事業の延べ実績

保 区	険 分	事 年	業 度	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
介 護 保 険	保 険 支 援	件 数	数			428	447	409	315	349	367	332	347	421	553	464	479	467	495 (77)	557 (141)	452	388
				訪 問 回 数			2,104	1,946	2,025	1,498	1,568	1,716	1,566	1,640	2,072	2,844	2,956	2,557	2,354	2,616 (323)	3,005 (647)	2,364
医 療 保 険	保 険 支 援	件 数	数			97	95	94	99	149	161	192	201	235	278	280	231	245	317 (75)	406 (80)	355	340
				訪 問 回 数			645	578	718	827	1,058	1,550	2,205	2,064	2,501	2,662	3,028	2,421	2,096	2,599 (379)	2,867 (397)	2,916
合 計		訪 問 回 数	数	349	464	525	542	503	414	498	528	524	548	656	831	744	710	712	812 (152)	945 (221)	807	728
				訪 問 回 数	1840	2530	2,749	2,524	2,743	2,325	2,626	3,266	3,771	3,704	4,573	5,508	5,984	4,978	4,450	5,215 (702)	5,872 (1,044)	5,280
		常 換 算	勤 算									4.1	4.4	5.6	6.0	6.8	5.7	7.2	8.3 (2.0)	10.5 (1.8)	7.3	6.5
居 宅 支 援		プ ラ ン 件 数				467	430	414	371	610	600	450	437	572	732	736	667	672	697	668	628	412

注) 上記の()はサテライト柏の実績



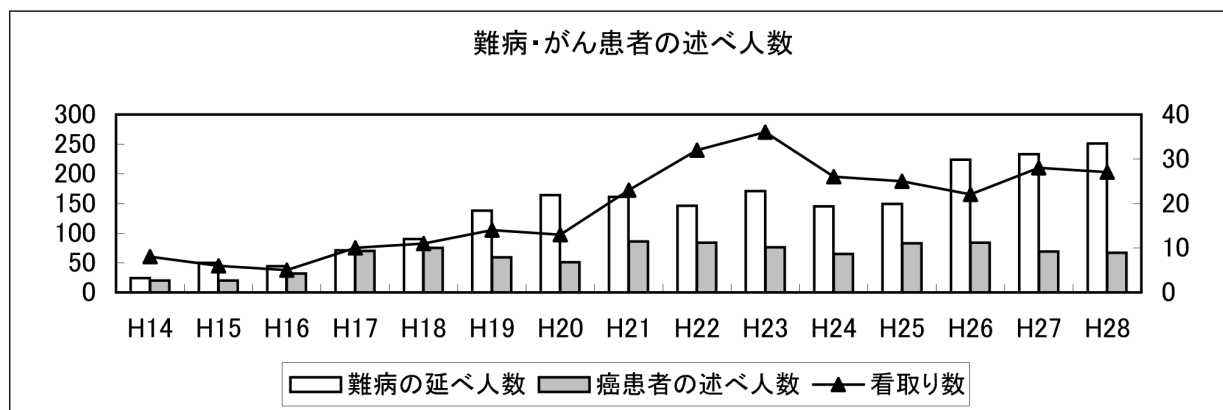
- * 平成28年度の常勤換算人数が平均6.5人。入職者2名、退職者1名、産休者1名。
月平均訪問看護数は365件、1人1日平均3.3件を訪問。
- * 保険別で見ると、訪問回数は6対4で医療保険が介護保険より多い。
- * 平成28年度の居宅支援ではケアマネージャが1名で、月平均34.3件。

難病・癌患者の延人数と看取り数

年 度	H13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
難病の延人数	24	50	44	71	90	138	164	161	146	171	145	149	179	224	233	251
癌患者の延人数	20	20	32	70	75	59	51	86	84	76	65	83	63	84	69	67
看取り数	8	6	5	10	11	14	13	23	32	36	26	25	24	22	28	27
(うち家での看取り)					2	4	10	12	16	21	11	16	13	11	12	17

* 難病の方を月平均21人、
小児は月平均4.3名、癌
の方は月平均5.6人。

* 看取りの内、約63%が
在宅看取。



緊急時訪問の時間帯延べ件数

年度	H13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
日中 8時～18時					16	23	28	49	126	156	89	95	113	167	143	112
早朝 8時～8時			1				1	4	11	5	20	3	5	1	13	12
夜間 18時～22時	6	1	5	2	5	10	8	18	36	35	40	41	38	54	38	34
深夜 22時～6時							3	9	25	34	38	26	14	22	51	21
計	6	1	6	2	21	33	40	80	198	230	187	165	170	244	245	179

* 緊急・臨時訪問数は月平均15件。
* 夜間・深夜帯の緊急訪問件数が多い。

年度	H13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
休日の訪問件数	9	1	4	8	7	15	34	77	172	174	118	99	134	215	381	144

* 休日の予定訪問・緊急訪問は月平均12件。

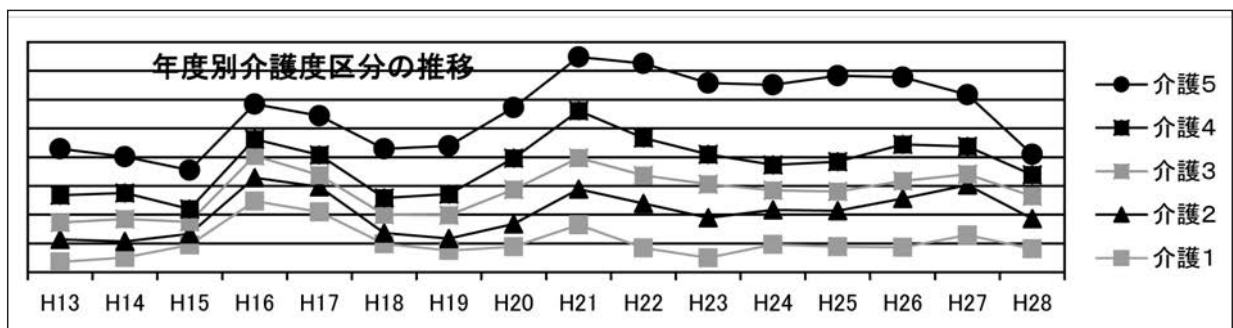
学生実習・研修の状況

年度	H13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
実習生・研修生延べ数(人)	90	82	81	106	125	129	139	126	156	164	203	185	207	155	122	161

* 実習学生は7学校、研修は6施設

2. 居宅介護支援事業

平成年度	利用者数 実績数	年 齢		性 別		地 区					介 護 度					
		1号	2号	男	女	美浜区	中央区	稲毛区	花見川区	四街道市	支援	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5
12年度	469	412	57	139	332	263	84	122	0	0	1	52	68	105	107	136
13年度	430	394	36	121	309	230	80	120	0	0	1	36	78	59	94	162
14年度	418	380	38	167	251	223	70	125	0	0	16	51	56	78	90	127
15年度	371	321	50	202	169	225	52	89	5	0	16	95	38	42	45	135
16年度	610	534	76	302	308	437	68	76	29	0	25	247	81	77	58	121
17年度	600	526	74	279	321	443	69	64	24	0	56	209	88	40	71	136
18年度	451	404	47	249	202	329	37	73	12	0	22	99	37	64	58	171
19年度	439	349	90	222	217	336	37	54	12	0	75	42	81	73	168	
20年度	572	438	134	306	266	401	70	84	17	0	88	80	120	108	176	
21年度	748	576	172	403	345	448	129	122	49	0	165	124	108	164	187	
22年度	726	576	150	390	336	454	82	140	50	0	84	155	97	131	259	
23年度	658	552	106	264	394	402	75	89	82	10	50	139	117	104	248	
24年度	652	535	117	214	438	376	78	138	48	12	97	120	68	88	279	
25年度	679	564	115	208	471	410	88	134	33	14	88	125	68	103	299	
26年度	678	564	114	212	466	397	128	102	38	13	86	170	61	127	234	
27年度	616	527	90	161	456	400	126	68	23	0	129	174	38	96	180	
28年度	410	376	34	123	287	303	59	36	12	0	81	105	78	74	72	



* 常勤換算1名に減った。1名の標準担当件数35件。

* 2号被保険者が全体の8%、特定疾患や癌末期の利用者が多い。

* 地区別では事業所が美浜区に所在しているため美浜区に集中だが、人伝の紹介で近隣の市からの依頼もある。

* 介護度別で要介護2の利用者が多い。特定疾患・がん末期で医療依存度の高い利用者が多い為と考える。

VI その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

1. 平成28年度 地区部会活動事業結果報告

千葉地区部会

地区部会長：荒木 暁子

事業項目	実施項目	実施内容
1 研修会の開催	第1回研修会 テーマ：ヒーリングによるストレスマネジメント 講師：中ルミ氏	日時：6/15(水)13：30～16：40 場所：千葉市ハーモニープラザ 参加者：36名
	第2回研修会 テーマ：身体疾患患者を併せ持つ認知症患者の看護 講師：神澤由佳氏	日時：9/29(木)13：30～16：30 場所：千葉中央看護専門学校 参加者：109名
	第3回研修会 テーマ：地域包括ケアにおける看看連携の実際 講師：小宮山日登美氏	日時：H29年1/25(水)13：30～16：30 場所：千葉中央看護専門学校 参加者：63名
2 地域のニーズに応える事業	看護の日	日時：5/14(土)13：00～16：00 場所：千葉市ハーモニープラザ 参加者：331名
	まちの保健室（常設型） 毎月第3（土） 時間：14：00～16：00	日時：6/18,8/20,9/17,11/19,12/17,1/21,2/18 場所：千葉市ハーモニープラザ 参加者：132名
	まちの保健室（イベント型） イベント名：千葉市ハーモニープラザサマーフェスティバル	日時：7/10(日)10：00～15：00 場所：千葉市ハーモニープラザ 参加者：522名
	まちの保健室（イベント型） イベント名：千葉市健康づくり大会	日時：10/15(土)10：00～16：00 場所：きぼーる 1Fアトリウム 参加者：862名
	進路相談等	場所：（まちの保健室にてのぼり旗掲示）
3 組織の強化と 会員増の促進	役員会（計5回） うち3回が協力委員会を含む	日時：4/15、7/15、9/16、12/16 2/17
4 地区内会員に対する 連絡調整	第1回連絡会	日時：7/15(金)15：00～16：30 場所：千葉市ハーモニープラザ 参加数：7施設29名
	第2回連絡会	日時：2/17(金)15：00～16：30 場所：きぼーる 参加数：30施設32名
5 その他、地区部会活動	第36回九都県市合同防災訓練千葉市会場訓練	日時：9/4(日)9：00～11：30 場所：穴川コミュニティセンター(稲毛区) 参加数：2名(災害支援ナース含む) 千葉市健康企画課、医師会、歯科医師会、薬剤師会と 合同で、模擬患者30名により救護所運営訓練を実施。
<p>総括</p> <ul style="list-style-type: none"> 概ね、計画通りに実施した。研修会もトピックを取り上げ、参加者の満足度も高く終了した。まちの保健室は開催場所を変更したばかりで、開催に関する住民への周知が徹底しないためか、集客が期待ほど伸びなかった。 		

事業項目	実施項目	実施内容
1 研修会の開催	第1回研修会 テーマ：がん看護 化学療法について 講師：鈴木紀代美氏	日 時：6/17(金)18：30～20：30 場 所：サンプラザ市原 9F 1・2 研修室 参加者：67名
	第2回研修会 テーマ：感染管理について 講師：大塚モエミ氏	日 時：9/16(金)18：30～20：30 場 所：サンプラザ市原 9F 1・2 研修室 参加者：71名
	第3回研修会 テーマ：認知症看護について 講師：深谷博子氏	日 時：11/18(金)18：30～20：30 場 所：サンプラザ市原 9F 1・2 研修室 参加者：54名
2 地域のニーズに応える事業	看護の日	日 時：5/14(土)13：00～16：00 場 所：ユニモちはら台 参加者：1,108名
	まちの保健室（常設型） 毎月第2（土） 時 間：13：00～16：00	日 時：6/11、7/9、9/10、11/12、12/10 場 所：ユニモちはら台 参加者：390名
	まちの保健室（イベント型） イベント名：市原市健康まつり	日 時：10/23(日)9：00～15：00 場 所：市原市保健センター YOUホール 参加者：974名
3 組織の強化と 会員増の促進	役員会(計7回)	日 時：4/20、6/1、7/6、9/7、10/5 12/7、2/1
4 地区内会員に対する 連絡調整	第1回連絡会	日 時：4/20(水)15：00～16：30 場 所：市原看護専門学校 参加数：15施設19名
	第2回連絡会	日 時：9/7(水)15：00～16：30 場 所：市原看護専門学校 参加数：13施設15名
5 その他、地区部会活動	市原市の協力事業 ・市原地域保健医療連携会議 ・市原市健康まつり実行委員会 ・市原市健康福祉センター運営協議会 ・高滝湖マラソン ・更級全国中学剣道大会 千葉県協力事業 ・看護進路系ガイダンス	各種協議会に出席 協力員派遣
<p>総 括</p> <p>研修会を3回実施し、PT、看護補助者、事務職員など他職種の参加と今まで参加のなかった施設からの参加があり、内容も受講者のニーズと合致した研修となった。今年度「認知症看護について」研修会を実施し、患者への対応方法の動画を取り入れた研修は患者の変化の過程と看護者、介助者としてどのようなコミュニケーション技術が必要であるのかを学び、今後の患者との関わりに繋がるとも良い学びになった。</p> <p>健康まつり、看護の日の行事には協力施設や看護学生の協力もあり、例年と同程度の市民の参加があり健康意識の向上に寄与できた。常設型まちの保健室は市民の認知も深まり、開催を待つ健康相談に来場される方もおり、時間をかけて対応することができた。</p> <p>今年度も市原市の多くの事業に協力をしている。また、県事業である看護系進路ガイダンスを昨年に引き続き実施し、看護協会入会案内の資料等手渡した。今後もこの方策を継続し、地道に会員増につなげていきたいと考える。看護職を希望する高校生や潜在看護師に向けた情報提供や募集の機会を検討していきたいと考える。</p>		
<p>今後の取り組み(残された課題)</p> <p>会員の連絡会参加が少ない現状である。出席を促し、意見交換や情報交換を活発にしていきたいと考える。今年度研修会には多くの職種、施設の参加があった。施設会員、個人会員の増加の方策として研修会参加の非会員には看護協会入会案内の資料等手渡した。今後もこの方策を継続し、地道に会員増につなげていきたいと考える。看護職を希望する高校生や潜在看護師に向けた情報提供や募集の機会を検討していきたいと考える。</p>		

事業項目	実施項目	実施内容
1 研修会の開催	第1回研修会 看護実践研修 テーマ：あなたの笑顔が看護をパワーアップ！笑いヨガでリフレッシュ 講師：大久保忠男氏	日時：7/13(水)14：30～16：30 場所：船橋中央病院附属看護専門学校体育館 参加者：53名
	第2回研修会 地域連携研修 テーマ：地域包括ケア病棟における生活支援と退院支援の実際 講師：鶴崎美優希氏	日時：10/19(水)14：30～16：30 場所：鎌ヶ谷総合病院 9F会議室 参加者：60名
	第3回研修会 看護管理研修 テーマ：病院経営に活かすデータヘルスの視点 講師：矢島鉄也氏	日時：2/23(木)15：00～16：30 場所：鎌ヶ谷総合病院 9F会議室 参加者：70名
2 地域のニーズに応える事業	看護の日	日時：5/14(土)10：30～15：00 場所：東武船橋駅コンコース 参加者：1,186名
	まちの保健室（常設型） 毎月第1(水)1月は第3 時間：13：00～16：45	日時：6/1,7/6,8/3,9/7,10/5,11/2,12/7,1/18,2/1 場所：船橋FACEビル5F船橋駅総合窓口センター内 参加者：222名
	まちの保健室（イベント型） イベント名：かまがや福祉健康フェア	日時：10/16(日)9：20～15：00 場所：鎌ヶ谷市総合福祉保健センター 参加者：292名
	まちの保健室（イベント型） イベント名：ふなばし健康まつり	日時：11/6(日)9：30～15：30 場所：船橋市運動公園 参加者：199名
	船橋市総合防災訓練	日時：8/28(日)8:50～12：30 場所：船橋市消防指令センター、市内5小学校 参加者：28名
3 組織の強化と 会員増の促進	役員会(計9回)	日時：4/21、6/2、7/7、7/13、9/8 10/19、11/10、1/19、2/23
4 地区内会員に対する 連絡調整	第1回連絡会	日時：7/7(木)14：00～16：00 場所：鎌ヶ谷総合病院 9F会議室 参加数：35施設35名
	第2回連絡会	日時：2/23(木)13：30～14：50 場所：鎌ヶ谷総合病院 9F会議室 参加数：39施設43名
5 その他、地区部会活動	ふなばし健やかプラン21 船橋市国民保護協議会 船橋市災害医療活動研究委員会 船橋市在宅医療ネットワーク企画委員会等会 船橋市救急シンポジウム実行委員会 習志野保健所運営協議会・地域医療構想意見交換会	それぞれ1～数回の会議に参加
<p>総括 5月の「看護の日」と常設型「まちの保健室」では、地域住民の医療・保健・福祉に関する啓発活動を行うという地区部会の活動目的に対して活動することができた。連絡会及び研修会の開催は、会員及び非会員の多数の参加があり、看護職のニーズに沿った内容であった。研修会会場では、非会員に対して入会申込書を配布したが、積極的な入会に結び付けられなかった。 地域の行事など地区部会役員が中心となって参加していたが、船橋の行事が多いので、市内の各施設からより多くの協力員を募り、参加を促していくことが今後の課題である。</p>		
<p>今後の取り組み(残された課題) 船橋市の防災訓練への協定について、今後検討が必要である。</p>		

事業項目	実施項目	実施内容
1 研修会の開催	第1回研修会 テーマ：今さら聞けないフィジカルアセスメント 講師：鈴木小百合氏	日 時：9/10(土)14：00～17：00 場 所：行徳文化ホール I & I 参加者：88名
	第2回研修会 テーマ：知っておきたい認知症 認知症の基本的な知識と専門職としての対応方法を学ぶ 講師：鎌田満穂氏	日 時：12/8(木)14：00～17：00 場 所：山崎製パン企業年金基金会館4F春光の間 参加者：42名
2 地域のニーズに応える事業	看護の日	日 時：5/14(土)11：00～15：00 場 所：市川市中央図書館 参加者：293名
	まちの保健室（常設型） 毎月第3(土) 11：00～15：00	実施日：6/18,7/16,9/17,11/19,12/17,1/21,2/18 場 所：市川市中央図書館 参加者：348名
	まちの保健室（イベント型） イベント名：健康フェア浦安	実施日：10/23(日)10：00～14：00 場 所：浦安市健康センター 参加者：130名
3 組織の強化と 会員増の促進	役員会（計8回） ・看護協会事業計画 ・各事業の活動計画 ・活動状況と結果及び評価 ・施設間情報交換	日 時：5/27、6/24、7/22、9/23、 10/28、11/25、12/26、2/26 場 所：化学療法研究所附属病院 山崎製パン企業年金基金会館
4 区内会員に対する 連絡調整	第1回連絡会 ・活動計画 ・活動状況 ・看護協会事業計画 ・施設間情報交換	日 時：6/24(金)15：00～17：00 場 所：山崎製パン企業年金基金会館 参加数：16施設17名
	第2回連絡会 ・活動計画 ・活動状況 ・看護協会事業計画 ・施設間情報交換	日 時：11/25(金)15：00～17：00 場 所：山崎製パン企業年金基金会館 参加数：17施設18名
5 その他、地区部会活動	市町村及び関係団体の活動	・市川健康福祉センター運営協議会委員 ・市川市防災会議 ・市川市総合防災訓練参加 ・市川市国民保護協議会委員
<p>総 括</p> <p>H28年度の活動については計画通り実施できた。研修会は年2回開催が精一杯であり、次年度も2回開催で企画検討したい。今年度の研修は看護の知識を中心に行った。看護実践に必要な疾患の知識・専門的技術を学べるということでも興味深く反響の多い研修だった。今年度から9月と12月に研修会を開催しているが、余裕をもって準備ができると好評なので次年度も継続する。1回は平日開催にすることも継続する。</p> <p>「まちの保健室」についてはリピートいただける方は増えたが、来場者を増やすには内容を検討する時期にきているのではないかという意見がでた。次年度の課題と考える。</p>		
<p>今後の取り組み(残された課題)</p> <p>役員の引き受けについてが一番の課題である。引き続き連絡会で協力を得ていく。</p> <p>「まちの保健室」では来場者を待つだけでなく、来場したくなるような何か簡単なイベントを企画し、人を集めることも考えていく。</p>		

事業項目	実施項目	実施内容
1 研修会の開催	第1回研修会 テーマ：認知症を正しく理解し、 心地よさへの支援を学ぼう 講師：川崎智恵氏	日時：7/15(金)14：00～16：00 場所：新東京病院3階講堂 参加者：84名
	第2回研修会 テーマ：地域包括支援システムについて 地域連携で看護職に期待されること 講師：森下裕子氏	日時：11/18(金)14：00～16：00 場所：新東京病院3階講堂 参加者：68名
2 地域のニーズに応える事業	看護の日	日時：5/14(土)10：00～14：00 場所：松戸駅東西連絡通路 参加者：467名
	まちの保健室（常設型） 年4回 時間：13：30～15：30	日時：6/11、9/10、12/10、2/11 場所：千葉県立西部図書館 参加者：35名
	まちの保健室（イベント型） イベント名：松戸まつり	日時：10/1(土)10：00～15：00 場所：松戸駅西口コンコース 参加者：596名
3 組織の強化と 会員増の促進	役員会（計7回）	日時：4/15、5/20、6/17、7/15 9/16、11/18、2/3
4 地区内会員に対する 連絡調整	第1回連絡会	日時：6/17(金)14：00～15：00 場所：新東京病院3階講堂 参加数：17施設18名
	第2回連絡会	日時：2/3(金)14：00～16：00 場所：東葛クリニックみらい 参加数：16施設18名
<p>総括</p> <ol style="list-style-type: none"> 今年度の研修は、①認知症について②地域包括支援システムと介護保険についてであったため、多くの施設から出席があり大変有意義な研修となった。 連絡会では、施設間での情報共有ができ、施設での課題についても話し合いをもつことができた。 松戸市防災訓練に役員含め6名参加したが、今後も多くの看護職を参加させていきたい。松戸市災害医療救護活動マニュアルに則り、三師会主催懇話会で具体的な活動が決定していく中、学校救護所への看護師派遣等話し合いを進めてきた。次年度は千葉県看護協会と情報を共有しながら、どのように活動していくのが課題となる。 県立西部図書館でまちの保健室を年4回開催したが、1回の参加者は非常に少なかった。次年度以降、同様の形態、集客では図書館での存続は厳しいため、次年度は3回の開催となってしまった。松戸地区部会での今後のまちの保健室のあり方が、課題である。 		

事業項目	実施項目	実施内容
1 研修会の開催	第1回研修会 テーマ：「認知症の理解と支援」 講師：溝井由子氏 他3名認知症看護認定看護師	日 時：7/26(火)14：00～15：30 場 所：「ウエルネス柏」4階研修室 参加者：78名
	第2回研修会 テーマ：「モチベーション(やる気)のつくりだし方」 講師：高嶋由香氏	日 時：10/19(水)4：00～16：00 場 所：「ウエルネス柏」4階研修室 参加者：100名
	第3回研修会 テーマ：セルフケアに生かすリラクゼーション法 講師：高木康子氏 他2名	日 時：2/22(水)13：30～15：00 場 所：「ウエルネス柏」4階研修室 参加者：65名
2 地域のニーズに応える事業	看護の日	日 時：5/14(土)10：00～14：00 場 所：道の駅 しょうなん 参加者：383名
	まちの保健室（常設型） 毎月第2(土) 時 間：10：00～14：00	日 時：7/9、9/10、11/12、1/14、3/4 場 所：道の駅 しょうなん 参加者：1,317名
	まちの保健室（イベント型） イベント名：がん予防展	日 時：9/3(土)9/4(日)10：00～17：00 場 所：イオンモール柏 参加者：251名
	進路相談等	日 時：5/14(土)10：00～14：00 場 所：道の駅 しょうなん 参加者：1名
3 組織の強化と 会員増の促進	役員会（計6回）	日 時：5/14、7/9、9/10、11/12、 1/14、3/4 場 所：道の駅 しょうなん
4 地区内会員に対する 連絡調整	第1回連絡会	日 時：7/26(火)16：00～17：00 場 所：「ウエルネス柏」4階研修室 参加数：24施設24名
	第2回連絡会	日 時：2/22(水)15：30～17：10 場 所：「ウエルネス柏」4階研修室 参加数：37施設38名
5 その他、地区部会活動	合同就職説明会・復職支援	日 時：8/26(金)10：00～15：10 場 所：「アミュゼ柏」 参加施設：21施設 参加者数：7名
<p>総 括 今年度の研修会は、講演中心で行われる内容より参加者のコミュニケーションが図れるグループワーク形式での共同作業や、リラクゼーションでのマッサージ技法の習得など取り入れたものが好評であった。連絡会では、地区部会運営の周知を図り各病院・施設間での情報共有の場にもなった。まちの保健室では、今年度から毎回骨密度測定も取り入れ、多くの方々の健康チェックや相談に乗ることが出来た。今後も継続して行きたい。</p>		
<p>今後の取り組み(残された課題) 1月開催のまちの保健室は、寒さが厳しく多くの来場者は厚着で健康測定は不向きであり、健康相談のみで対応人数も減らしていく。また、認知症に関わる相談窓口の設置を認定看護師と計画する。合同就職説明会において復職支援の他にミニ講演会を考えている。</p>		

事業項目	実施項目	実施内容
1 研修会の開催	第1回研修会 テーマ：認知症を持つ人のケアを考える 講師：緑川由佳氏 村田康子氏 渡辺恵美子氏	日 時：7/23(土)13：30～16：00 場 所：聖隷佐倉市民病院 6Fホール 参加者：116名
	第2回研修会 テーマ：冬に役立つ感染対策 講師：寺井幸子氏 渡辺郷美氏	日 時：11/26(土)14：00～16：00 場 所：聖隷佐倉市民病院 6Fホール 参加者：75名
2 地域のニーズに応える事業	看護の日	日 時：5/14(土)13：30～16：00 場 所：ボンバルタ成田店 4階中央エレベーター脇 参加者：436名
	まちの保健室（常設型） 毎月第2(日) 時 間：13：30～16：00	日 時：6/12、7/10、8/14、9/11、11/13、12/11、1/8、2/12 場 所：ボンバルタ成田店 4階中央エレベーター脇 参加者：1,549名
	まちの保健室（イベント型） イベント名：成田市健康福祉まつり	日 時：10/16(日)9：00～16：00 場 所：成田市保健福祉館 検診室 参加者：515名
	進路相談等	日 時：5/14(土)13：30～16：00 場 所：ボンバルタ成田店 4階中央エレベーター脇 参加者：0名
3 組織の強化と 会員増の促進	役員会（計8回）	日 時：4/13、6/24、7/23、9/30、 10/27、11/26、12/26、3/2
4 地区内会員に対する 連絡調整	第1回連絡会	日 時：7/23(土)10：30～11：30 場 所：聖隷佐倉市民病院 6Fホール 参加数：19施設22名
	第2回連絡会	日 時：11/26(土)11：00～12：00 場 所：聖隷佐倉市民病院 6Fホール 参加数：18施設20名
5 その他、地区部会活動	印旛地区部会卒後教育公開研修 日産厚生会 佐倉厚生園病院 東邦大学医療センター佐倉病院 聖隷佐倉市民病院 千葉県障害者スポーツ大会への救護派遣 佐倉朝日健康マラソン大会への救護派遣	9/10 看護補助者向け「清潔の保持、手足浴編」4名 2/25 清潔の保持 口腔ケア編 11名 9/29 がん化学療法 1名、9/27 感染予防A（基礎編）1名、 9/23 新人サポートフィジカルアセスメント基礎編 2名 11/29 新人サポートフィジカルアセスメント統合編 1名 10/21 新人看護職員研修「褥瘡ケア基礎編」1名 9/16 協力員2名派遣、9/17 協力員2名派遣 2017/3/27 役員6名、協力員22名派遣
<p>総 括</p> <p>1. 常設のまちの保健室は、楽しみに来場される方も増え集客数は毎回延べ90名以上である。看護協会の活動への参加を勧めていくために、地域施設に幅広く協力員の依頼をしていく。</p> <p>2. 連絡会へは新規参加施設があり、参加施設数は少しではあるが増加傾向である。地域の連携の場として活用していく。</p> <p>3. 研修会は、会員のニーズに合った研修内容を企画し、年2回実施していく。</p>		

事業項目	実施項目	実施内容
1 研修会の開催	第1回研修会 テーマ：体をリフレッシュさせいきいきと働くために コンディショニングを学ぶ 講師：長正史氏 金丸満理子氏	日 時：7/8(金)13：00～16：30 場 所：旭中央病院研修棟 5階大講堂 参加者：82名
	第2回研修会 テーマ：看護職・介護職のストレスマネジメント 講師：安藤京子氏	日 時：9/16(金)13：50～16：30 場 所：旭中央病院付属看護専門学校 5階中講堂 参加者：72名
	第3回研修会 テーマ：認知症の人々への理解を深め、生活障害を支援する 講師：山村まどか氏	日 時：1/19(木)13：30～16：00 場 所：旭中央病院研修棟 5階大講堂 参加者：91名
2 地域のニーズに応える事業	看護の日	日 時：5/14(土)10：30～15：00 場 所：イオンモール銚子 参加者：917名
	まちの保健室（常設型） 毎月第3(土) 時 間：10：00～15：00	日 時：6/18、7/16、9/17、10/15、11/19、12/17 場 所：希聖里あさひ・発酵の里こうざき・ふれあいパーク八日市場 参加者：800名
	まちの保健室（イベント型） イベント名：がん予防展	日 時：2/11(土)10：30～16：00 場 所：佐原中央公民館1階展示コーナー 参加者：54名
3 組織の強化と 会員増の促進	役員会（計8回）	日 時：4/15、5/14、6/17、7/8、9/16 11/18、1/19、2/17
4 地区内会員に対する 連絡調整	第1回連絡会	日 時：6/17(金)15：00～16：30 場 所：旭中央病院付属看護専門学校 5階中講堂 参加数：20施設25名
	第2回連絡会	日 時：2/17(金)15：00～16：30 場 所：旭中央病院付属看護専門学校 5階中講堂 参加数：17施設21名
5 その他、地区部会活動	看護職合同就職説明会・看護技術講習	日 時：11/18(金)9：15～13：00 場 所：小見川市民センター 参加施設：6施設 参加者数：4名
<p>総 括 研修会は参加者も多く、アンケート結果からも満足度の高い内容であった。認知症ケアに関しては病院だけでなく、福祉施設や保健師の参加もあり、タイムリーな内容だったと思う。連絡会では地区内の管理者から看護職不足の件やストレスを抱える職員への対応等の発言があり、意見交換をすることで解決には至らなくとも何かしらのヒントを得る機会となっていると感じる。</p>		

事業項目	実施項目	実施内容
1 研修会の開催	第1回研修会 テーマ：認知症の医療と認知症高齢者の生活について 講師：作田滋氏	日時：7/16(土)13：30～15：30 場所：浅井病院5階大会議室 参加者：50名
	第2回研修会 テーマ：認知症高齢者の看護 講師：高梨敬子氏	日時：10/15(土)13：30～15：30 場所：季美の森リハビリテーション病院 参加者：60名
	第3回研修会 認知症予防のための運動 講師：石原啓次氏	日時：1/21(土)13：30～15：30 場所：東千葉メディカルセンター2階講堂 参加者65名
2 地域のニーズに応える事業	看護の日	日時：5/14(土)10：00～14：00 場所：東金サンピア ステージコート 参加者：865名
	まちの保健室	日時：7/2(土)10：00～14：00 場所：道の駅 みのりの郷東金 参加者：339名
	まちの保健室（イベント型） イベント名：救急フェア山武2016	日時：9/4(日)13：00～15：00 場所：東金サンピア ステージコート 参加者：253名
	まちの保健室（イベント型） イベント名：城西国際大学学校祭	日時：11/5(土)11：00～16：00 場所：城西国際大学
3 組織の強化と 会員増の促進	役員会（計7回）	参加者：552名 日時：4/14、5/12、6/9、6/27、10/13 11/10、2/9
4 地区内会員に対する 連絡調整	第1回連絡会	日時：6/9(木)15：00～16：30 場所：山武健康福祉センター 3階会議室 参加数：14施設17名
	第2回連絡会	日時：2/9(木)15：00～16：30 場所：山武健康福祉センター 3階会議室 参加数：14施設17名
5 その他、地区部会活動	合同就職説明会及び技術研修会	日時：2/23(木)13：30～15：30 場所：城西国際大学 参加施設：10施設 参加者数：8名
<p>総括 今年度より常設型の「まちの保健室」をやめ、イベント型へ移行。延べ参加人数が多く、地域以外の住民の参加もあり、看護職能のアピールをすることができ、役員・協力員の士気も向上した。合同就職説明会は4年目となるが、少しずつ参加者が増えている。就職に結びつくと良い。</p>		

事業項目	実施項目	実施内容
1 研修会の開催	第1回研修会 テーマ：口腔ケア・摂食嚥下研修会 講師：宮下由美子氏	日 時：7/28(木)13：30～16：30 場 所：睦沢町農村環境改善センター 参加者：56名
	第2回研修会 テーマ：エンゼルケア 講師：橋本友希氏	日 時：1/26(木)13：30～17：00 場 所：睦沢町農村環境改善センター 参加者：70名
2 地域のニーズに応える事業	看護の日	日 時：5/14(土)12：30～15：00 場 所：茂原ショッピングプラザ「アスモ」 参加者：609名
	まちの保健室（常設型） 毎月第4(土) 時 間：11：00～1500	日 時：4/23、6/25、7/23、9/24、10/22、11/26 場 所：茂原ショッピングプラザ「アスモ」2F 参加者：61名
	まちの保健室（イベント型） イベント名：アスモ桜祭り	日 時：4/2(土)11：00～15：00 場 所：茂原ショッピングプラザ「アスモ」2F 参加者：5名
	まちの保健室（イベント型） イベント名：食育フェスタ	日 時：11/5(土)10：00～15：00 場 所：茂原ショッピングプラザ「アスモ」 参加者：100名
3 組織の強化と 会員増の促進	役員会（計6回）	日 時：4/14、6/23、7/28、10/27、1/26 2/16
4 地区内会員に対する 連絡調整	第1回連絡会	日 時：6/23(木)15：00～17：00 場 所：公立長生病院 参加数：17施設20名
	第2回連絡会	日 時：2/16(木)15：00～17：00 場 所：公立長生病院 参加数：21施設23名
5 その他、地区部会活動	合同就職説明会	日 時：11/24(木)9：30～15：00 場 所：茂原市役所内市民室 参加施設：7施設 参加者数：6名
	看護研究研修会	日 時：4/14、9/29、10/17 場 所：睦沢町農村環境改善センター
<p>総 括</p> <p>長夷地区で独自に行っている看護研究指導は、三育学院大学の篠原講師による指導で研究希望者も多く定着している。また、まちの保健室へ来る人数はだんだん減っていく傾向にあるが、最近健康への意識が高くなってきている。毎月決まった日時と場所でやっていることのアピールをして、これからも地域住民の皆様が健康で長生き出来るようにしていきたいと思う。</p> <p>合同就職説明会は、あいにく天候が悪く来場者数は少なかったのが残念だったが、毎年やることで就職をするつもりでこられる方も増えている。面接にはなかなか行けないと考えてる潜在看護師も結構いるので、今後も続けていけたらと思う。来年度は研修会ももう少し増やせると良いと考えている。</p>		

事業項目	実施項目	実施内容
1 研修会の開催	第1回研修会 テーマ：BLS研修 講師：笈川香織氏	日時：7/22(金)14:00～16:00 場所：君津中央病院4階講堂 参加者：46名
	第2回研修会 テーマ：医療安全担当者地区交流会 講師：鈴木真氏	日時：11/18(金)13:30～16:00 場所：君津中央病院4階講堂 参加者：61名
	第3回研修会 テーマ：看護研究発表会 講師：平山眞理子氏	日時：2/8(水)13:30～16:00 場所：君津中央病院4階講堂 参加者：61名
2 地域のニーズに応える事業	看護の日	日時：5/14(土)10:30～15:00 場所：イオンモール富津 参加者：406名
	まちの保健室（常設型） 毎月第2(木) 時間：13:30～16:00	日時：6/9,7/14,8/4,9/8,11/10,12/8,1/12 場所：イオンタウン木更津朝日 参加者：239名
	まちの保健室（イベント型） イベント名：君津健康と福祉のふれあいまつり	日時：10/15(土)10:00～14:30 場所：君津市保健福祉センター 参加者：810名
3 組織の強化と 会員増の促進	役員会（計6回）	日時：4/15、6/24、9/9、12/9 1/13、2/21
4 地区内会員に対する 連絡調整	第1回連絡会	日時：6/24(金)15:00～16:00 場所：君津中央病院4階講堂 参加数：17施設25名
	第2回連絡会	日時：1/13(金)14:30～16:00 場所：君津中央病院4階講堂 参加数：13施設19名
5 その他、地区部会活動	アクアラインマラソン救護	日時：10/23(日) 参加人数：10名
<p>総括</p> <p>3回の研修会を開催し、実践で活かせる研修内容「BLS研修」や看護研究などの満足度は高く非会員の参加者も多かった。看護研究は他施設の発表を聞くことで日常業務の見直しにつながったという感想も聞かれ実施する意味が大きいと感じた。今後も、会員のニーズに合わせた研修企画を考えていきたい。また、今年度は、「医療安全担当者地区交流会」を看護協会の協力の下に実施できた。地区で多職種で行う研修の場は少ない中、医療安全について体験を通して学び、チームワークやコミュニケーションの重要性を考え、チームで安全意識を高めることの大切さを深める機会になった。当地域は大きい施設が少ないが、多くの病院やクリニック、介護施設にも研修への参加を働きかけることで、近くで実施する学習の機会を活用し、連携を高めて地域の看護の質向上につなげる活動にしていきたい。</p>		
<p>今後の取り組み(残された課題)</p> <p>地区部会役員を担う施設が決まってきている。施設連絡会などを利用して、活動の目的や内容を理解してもらい、役員や活動への参加、会員増を働きかけていきたい。常設型「まちの保健室」は集客が伸び悩み、利用施設の背景も変化したため、場所の変更を検討していく。また、内容についても見直し、利用者のニーズに合った内容を考え検討していくことも課題としていきたい。</p>		

事業項目	実施項目	実施内容
1 研修会の開催	第1回研修会 テーマ：現代の若者気質を踏まえた、職場における 世代の異なる人との上手な人間関係の構築について 講師：常山吾朗氏	日 時：9/24(土)13：30～15：30 場 所：安房医療福祉専門学校 小池ホール 参加者：40名
	第2回研修会 テーマ：医療安全担当者地区交流会 講師：鈴木真氏	日 時：11/5(土)13：30～16：30 場 所：亀田医療大学 第3講義室 参加者：27名
	看護研究発表会（発表4席） 講演テーマ：ワーク・ライフ・バランスの推進 講師：山田みどり氏・菊地眞知子氏	日 時：2/4(土)13：20～16：10 場 所：千葉県南総文化ホール 大会議室 参加者：42名
2 地域のニーズに応える事業	看護の日	日 時：5/14(土)10：00～15：00 場 所：イオンタウン館山 コミュニティホール前 参加者：264名
	まちの保健室（常設型）	日 時：7/2、7/30、10/1、10/29 場 所：イオンタウン館山、イオン鴨川
	時 間：11：00～13：00 進路相談等 進路ガイダンス	参加者：119名 日 時：7/7、2/24 場 所：文理開成高校、館山総合高校
3 組織の強化と 会員増の促進	役員会（計10回）	日 時：4/13、5/14、6/24、8/17、9/24 11/5、11/30、1/18、2/4、2/22
4 地区内会員に対する 連絡調整	第1回連絡会	日 時：6/14(火)13：30～15：30 場 所：医療法人光洋会 会議室 参加数：26施設32名
	第2回連絡会	日 時：2/22(水)13：30～14：30 場 所：医療法人光洋会 会議室 参加数：13施設15名
5 その他、地区部会活動	看護師派遣事業 看護職合同就職説明会・看護技術講習会	13施設 31名 日 時：10/20(木)10：00～12：00 場 所：鴨川市ふれあいセンター 参加施設：5施設 参加者数：1名
<p>総 括</p> <p>今年度の事業は予定通り実行し、大きな問題はなく終了した。昨年に引き続き開催した合同就職説明会は今年度は鴨川での開催とした。来場者は1名のみであった。3年間実施したが、来場者が少ないこと、費用対効果も考え、来年度は実施しない。研修会時、非会員施設にも案内を送ることとなり、非会員の参加も増えている。</p> <p>非会員には、看護協会のパンフレット・入会申込書などを渡している。</p> <p>看護の日、まちの保健室は、色々な行事と重なり参加者が、少なくなっている。今年度、血管年齢測定を行ったところ、やや参加者が増加した。来年度も、予算上年一回借用できる測定器や無料で借用できる測定器を使用して、参加者増につなげたい。</p>		

平成28年度地区部会会計執行状況表

29.3.31

(単位 円)

	地区部会	収入額	上半期 支出額	下半期 支出額	年間支出額	残額	執行率	銀行利息
1	千葉	550,000	287,779	89,450	377,229	172,771	68.6%	2
2	市原	430,000	235,722	111,604	347,326	82,674	80.8%	0
3	船橋	410,000	217,393	66,142	283,535	126,465	69.2%	0
4	市川	470,000	193,168	110,185	303,353	166,647	64.5%	3
5	松戸	340,000	159,191	52,271	211,462	128,538	62.2%	0
6	東葛	260,000	149,207	109,669	258,876	1,124	99.6%	0
7	印旛	300,000	129,567	76,071	205,638	94,362	68.6%	1
8	利根	310,000	237,733	60,686	298,419	11,581	96.3%	15
9	山武	350,000	247,736	63,577	311,313	38,687	89.0%	0
10	長夷	400,000	319,512	73,139	392,651	7,349	98.2%	0
11	君津	390,000	136,255	157,938	294,193	95,807	75.4%	1
12	安房	480,000	227,334	92,515	319,849	160,151	66.6%	2
	計	4,690,000	2,540,597	1,063,247	3,603,844	1,086,156	76.8%	24

2. 「看護ちば」に関する調査

現在、千葉県看護協会では、協会機関誌として「看護ちば」を年間4回、会員に配布しております。つきましては、広報委員会として会員のニーズにあった広報誌にするための検討を行っております。そこで、下記のアンケートへのご協力をお願いいたします。

1. 貴施設の会員の方は「看護ちば」を読んでいると思いますか

- ほぼ全員読んでいる 半分くらい読んでいる ほとんど読んでいない わからない
その他 ()

2. 貴施設では「看護ちば」を活用していますか

- 活用している 活用していない
→活用しているとお答えの方へ
具体的にどのような活用をしているか教えてください

[]

3. 「看護ちば」の配布数として適切だと思うものに○をつけてください

- 会員1人に1部 部署で1部 部署で複数 施設で1部 その他()
それはなぜですか

[]

4. あなたが現在「看護ちば」に掲載している内容の中で興味のあるもの2つに○をつけてください

- | | |
|---------------------|---------------|
| ・医療事故（シリーズ） | ・地区探訪（シリーズ） |
| ・ワーク・ライフ・バランス（シリーズ） | ・バトンタッチ（シリーズ） |
| ・オススメBOOKS（シリーズ） | ・教育研修 |
| ・協会の活動内容 | ・その他 |

5. 「看護ちば」に載せてほしい内容・情報がありましたら下記にご記入ください

[]

6. 県民に「看護ちば」を紹介するとした場合、配布場所はどこが適切と思いますか

[]

7. 貴施設の情報をお聞かせください

(1) 施設の種別 (できれば施設名)

- 病院 診療所・クリニック 訪問看護ステーション 教育機関
介護・福祉関係施設・在宅等領域

(2) 会員数

- 100人以上 50～100人未満 10～50人未満 10人未満

ご協力ありがとうございました

千葉県看護協会広報委員会

要 望 書

平成28年 8 月 9 日

千葉県知事 森田健作 様

公益社団法人 千葉県看護協会
会 長 星 野 恵美子

2025年問題に向けた地域包括ケアシステムが本格的にスタートしました。平成28年度の診療報酬改定では、7対1入院基本料の施設基準の見直しを始めとして、地域医療構想とリンクする病院機能の明確化や、退院支援、在宅療養支援等、地域連携の取組みを強化する病院完結型医療から地域完結型医療への移行が色濃く出た内容となりました。これは2年後(平成30年度)の医療・介護の診療報酬の同時改定を念頭に置いた、医療・介護の一体的な支援システムの構築に向けた改定であると考えます。

一方、看護の現場では、平成27年10月からスタートした2つの制度が進み始めました。一つは「離職看護師のナースセンターへの届出制度(努力義務化)」により、「潜在をしない・させない」の考えの下、看護職の確保・定着への道が大きく前進し、徐々に成果を上げています。二つ目は「特定行為に係る研修制度」により、看護の質の向上と活動領域の拡大が進み始め、平成27年度には全国で42名の修了生が現場で活躍しています。

こうした中、高齢化のスピードが全国第2位の本県においては、他県に先駆け平成27年度末に医療構想が策定されました。今後はこの構想を基に、地域ごとにどのような地域包括ケアシステムを構築していくかが最も大きな課題となっています。

特に、地域包括ケアシステムの中心となる看護職の確保・定着と質の向上は、県民をはじめ、多くの機関や団体、行政から期待されているところです。平成37年には、約1万5千人の看護職不足が予測されている中、これまでの確保・定着対策を着実に推進していくとともに、新たな戦略をもって対策を進めることが求められています。特に、県民需要が増大する在宅医療については、恒常的な訪問看護師不足や、訪問看護ステーション未設置の地域等、様々な課題がクローズアップされています。

よって、平成29年度予算案の編成に当たっては、以下の事項についてご尽力賜りますよう、要望いたします。

要 望 事 項

I 2025年を見据えた看護職の定着・確保対策の推進

人口10万対の看護職は全国ワースト3位、2025年には約1万5千人の看護職不足が推計されている本県では、看護職の定着・確保対策は喫緊の課題となっている。これに対応するために、実効性の高い戦略と実践が必要である。

よって、看護職の魅力等広報戦略と質の高い看護職の養成、看護の専門性を発揮し、働き続けられる環境づくりへの取り組みについて支援されたい。

II 地域包括ケアシステムの構築

超高齢化社会を背景に増え続ける医療介護のニーズに対応するためには、地域の実情に応じた地域包括ケアシステムの構築が必要である。

よって、システム構築の要となる訪問看護師の育成・確保と、地域における病院と地域の看護職間の連携から多職種間連携へと拡大・発展させるシステムづくりを支援し、在宅医療の充実を図られたい。

III 安全・安心な出産環境の確保

少子化が進む中、助産師が専門性を発揮し、安全な妊娠・出産、子育てのできる環境を整備することが喫緊の課題である。

よって、院内助産及び助産師外来を整備し、妊産婦指導の充実及び分娩・産褥期への適切な関わりを充実するために、助産師の適正配置及び確保推進を図られたい。

IV 保健師の資質の向上と体制整備

今般、最終とりまとめが公表された、「保健師に係る研修の在り方等に関する検討会」では、公衆衛生を担う保健師のキャリアラダーが提示された。保健師には、地域包括ケアシステムの構築の牽引者としての役割が求められている。

よって、地域における保健師の保健活動が、より効果的かつ効率的に推進できるよう、保健師の資質の向上と統括的保健師の配置への取り組みを強化されたい。

V 医療安全対策の推進

医療事故の再発防止を目的とした医療事故調査制度が昨年10月からスタートした。医療安全対策の推進は、県民に安全で質の高い看護を提供するとともに、県民と医療者との信頼関係の醸成にもつながり、看護職の定着・確保にも大きな影響を与える。

よって、各医療機関における医療安全体制の強化や医療安全対策への組織的な取り組みについて助成されたい。

要 望 事 項 詳 細

I. 2025年を見据えた看護職の定着・確保対策の推進

看護職不足が深刻な本県において、看護職の定着・確保を図り県民に安全で安心な医療・看護を提供するためには、看護職の魅力等の広報戦略と、質の高い看護職の養成、看護の専門性を発揮し働き続けられる環境づくりが必要である。

よって、以下の事項について実施されたい。

1. 看護職の確保の推進について

(1) 広報活動の強化

県内の各分野で活躍する看護職の働く姿、例えば「時代を担う看護師たち」等を連載する等、マスメディアを活用した広報や県内に運航しているバスの車内広告、県民の身近にある市町村広報への掲載依頼等、県民が生活する中で自然に目に留まり、継続的に県民に浸透できるような広報戦略により、看護職の志望者を増やす対策を図られたい。

(2) 教育関係者との連携強化による看護学生の確保

看護を志す質の高い学生の確保に向け、中・高校生に対して看護に対する関心を促すために、進路指導教諭への理解を深める場や看護進路相談の機会の確保等、教育関係者との連携を強化されたい。

また、看護職を志望する学生の実態を調査し、確保につなげる方策を検討されたい。

(3) 千葉県立保健医療大学における定員の増員と看護研修センターの併設

看護職の役割拡大や専門性の向上等、社会の期待に応える看護職を確保するために以下の事項について早期に実施されたい。

ア. 看護学科の1学年定員の増員

イ. 大学院看護学研究科の設置

ウ. 看護職の卒後研修を実施する付属機関(仮称)看護研修センターの併設

(4) 看護師等学校養成所及び実習施設における臨地実習体制等の整備

看護師等学校養成所において看護実践を重視した基礎教育を実施するためには、専任教員及び実習指導者の質・量の確保が不可欠である。

よって、以下の事項について実施されたい。

ア. 看護教育の向上を図るため、計画的な看護教員の養成

イ. 臨床実習指導者講習会受講者の定員と開催回数の増、eラーニングの導入

(5) 修学資金の貸付制度のあり方の検討

看護需要の増加が予測されることを踏まえて、看護学生及び看護大学院生が安心して勉学に集中できるよう、以下の事項について修学資金のあり方を再検討されたい。

ア. 県内の看護師等学校養成所の学生に対する対象者数の拡大

イ. 貸付額の増額

(6) 専門分野における質の高い看護師の育成と処遇

がん、糖尿病、認知症、救急看護、訪問看護等に精通した専門看護師や認定看護師、特定行為の研修受講者の活用は、本人のみでなく他の看護職の離職防止に繋がるとともに、専門性の高い看護の提供を行うためにも不可欠である。

よって、専門看護師及び認定看護師、特定行為の研修の資格取得に係る受講料等について助成されたい。

(7) 看護師養成の教育年限4年の実現

高齢社会の進展、医療の高度化・複雑化、在院日数の短縮化の進行等で看護師には短期間の入院で集中的に質の高い医療・看護を提供することが求められている。さらに今後地域包括ケアにおいて病院完結型から地域完結型医療への転換を進める要となるのは看護師であり、急性期医療から在宅医療までのそれぞれの場で、タイムリーに的確な医療・看護を提供するためにも多職種連携の推進が求められる。さらに生活の質の視点を持って患者を支える役割を果たすなど、活動内容は多様化・高度化が想定されている。それらに見合った教育内容の追加も必要である。

よって、看護師基礎教育の教育内容の追加及び教育時間の延長のため、教育年限4年の実現を国に要望されたい。

(8) 准看護師制度について

准看護師の養成停止について、国に提言されたい。

また、その養成停止が実現するまでの間は、准看護師養成校の質の確保、並びに県立看護専門学校等、2年課程の養成を存続されたい。

2. 県内就業の促進と働き続けられる環境づくりについて

(1) 看護職のワーク・ライフ・バランスの推進

看護の現場では、夜勤・交代制勤務等の労働負荷に加えて、時間外勤務が常態化しているなど労働条件・環境改善等の立ち遅れにより、仕事と家庭の両立が困難となった看護職が離職している。ワーク・ライフ・バランスを踏まえた働き続けられる環境づくりが喫緊の課題である。

よって、以下の事項について実施されたい。

ア. ワーク・ライフ・バランスの推進への支援

イ. 院内保育所及び学童保育の設置や運営への助成の拡充、保育時間や学童保育年齢の延長等、柔軟に活用できる体制の確保、病児保育、病後児保育等地域のニーズにあった保育体制の整備について、市町村への働きかけの強化及び運営補助等の支援

(2) ナースセンター事業の充実強化

昨年10月から看護職の離職時におけるナースセンターへの届出制度がスタートし、現在の求職者登録制度(e-ナース)との連動に向けたシステムが始動した。一方、所在が不明確である潜在看護職の掘り起し、再就業への働きかけの課題は残っている。こうした現況を踏まえ、看護職の再就業支援を促進するため、以下の事項について支援されたい。

ア. 届出制度を活用した復職支援

- ・就業相談推進アドバイザーの活動費等への支援
- ・職場復帰のための継続的な研修会への支援
- ・地域における再就業技術講習会及び合同就職説明会開催への支援

(3) 卒後研修等の更なる充実

全ての看護職が質の高い卒後研修を継続的に受けられるよう、一層の財政的支援を実施されたい。

II. 地域包括ケアシステムの構築

超高齢化社会を背景に増え続ける認知症等、医療介護のニーズに対応するためには、地域の実情に応じた地域包括ケアシステムの構築が必要である。在宅医療、在宅介護を推進し誰もが迎える晩年を住み慣れた地域と家で暮らせる社会を目標とする地域包括ケアシステムでは、看護職はその構築の中心となりうる有力な職種であると認識している。医療機関勤務の看護職と地域に根づいた訪問看護師の連携強化により多職種との「チームケア」へ発展させていく。高齢化社会を乗り切るため、看護職の持つ特性を十分に生かすために、以下の事項について実施されたい。

1. 訪問看護の充実・強化について

千葉県における人口10万対の訪問看護ステーション数は4.5(全国45位)となっており、在宅療養を希望する、或いは在宅療養を選択せざるを得ない県民の思いに応えられる実態にははるかに遠い。訪問看護職の確保に向け、以下の支援を強化及び実施されたい。

ア. 訪問看護実習受け入れ体制の整備

イ. 訪問看護師の確保・育成

ウ. 訪問看護ステーションにおける現任教育とその体制整備にかかる支援の強化

エ. 訪問看護ステーション開設後に離職や子育て等により、人員要件を満たさない事態が発生した場合の一定期間の経過措置

オ. 訪問看護師の処遇改善及び診療報酬の適正評価についての国への要望

2. 在宅療養を支える看護師の質の向上と定着について

入所・通所サービス等を行っている高齢者ケア施設においては、医療依存度の高い療養者が増えていることから看護職への役割期待が高まっている。これらの場での看護は、療養者を医療と生活の両面から支える視点が必要で、高い医療・看護の知識と技術が求められる。

そこで、高齢者ケア施設の管理者の理解のもとに研修体制の充実を図られたい。

3. 地域における支援体制の整備について

高齢化の進展によって、医療・介護サービスの両方を必要とする県民は増えていくことが予測され、地域単位で、働く場を越えた看護職同士の連携をベースに、その連携枠を多職種へと拡大し、支援ネットワークへと発展させていくことが重要である。

よって、以下の事項について支援されたい。

ア. 地域包括ケアシステム研修の開催

イ. 地域における看看連携、看看ケアマネ等連携の推進

ウ. 地域における訪問看護基礎研修の開催

4. その他

少子超高齢化社会が進展する中、長期療養を必要とする小児や、精神障がい者に対する療養支援システムの構築が否めない。よって、以下の事項について支援されたい。

ア. 精神障がい者及び小児在宅療養支援システムの構築